

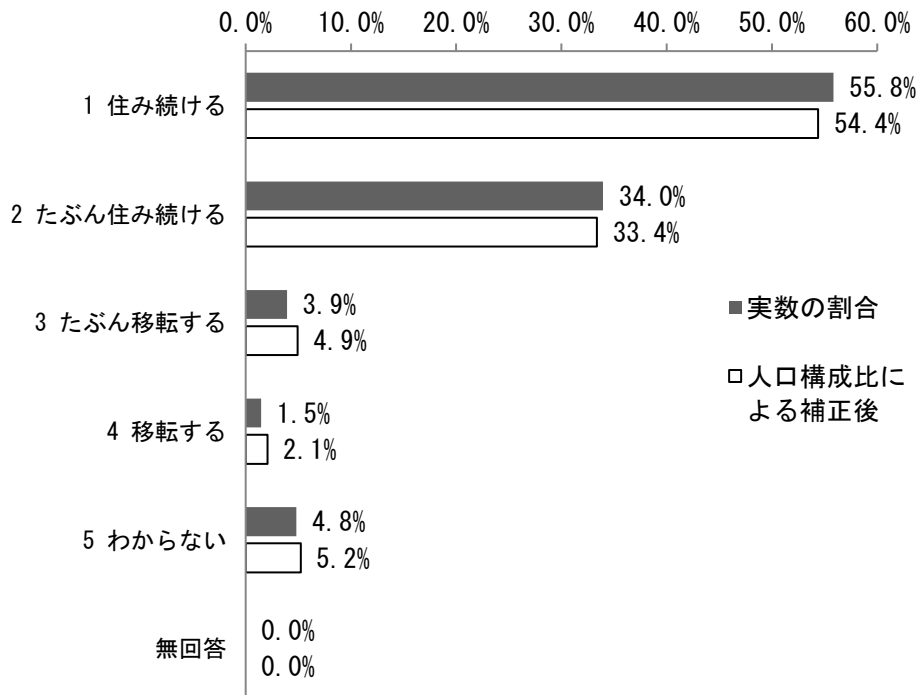
第2章 結果の概要

【1】 あなたの今後における平塚市への居留意向などについて

(問1) あなたは、今後も平塚市に住み続けようと思いますか。(○は1つ)

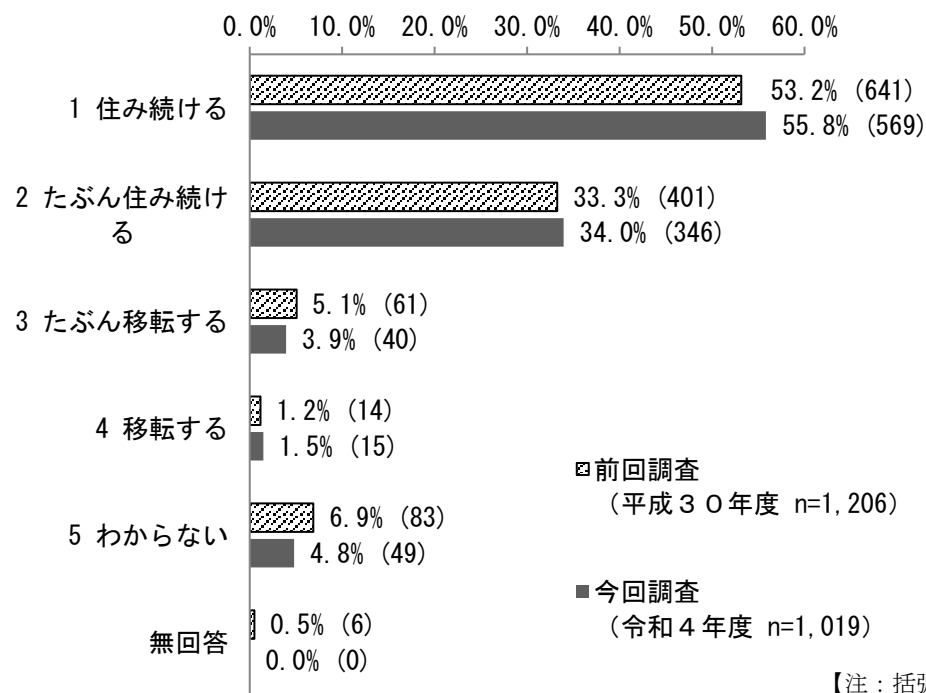
【全体の傾向】

平塚市への居留意向については、「1 住み続ける」が 55.8%と最も多く、「2 たぶん住み続ける」の 34.0%を合わせると 89.8%となり、大半を占めている。また、「3 たぶん移転する」と「4 移転する」を合わせた市外への『移転意向』は 5.4%となっている。



【前回調査との比較】

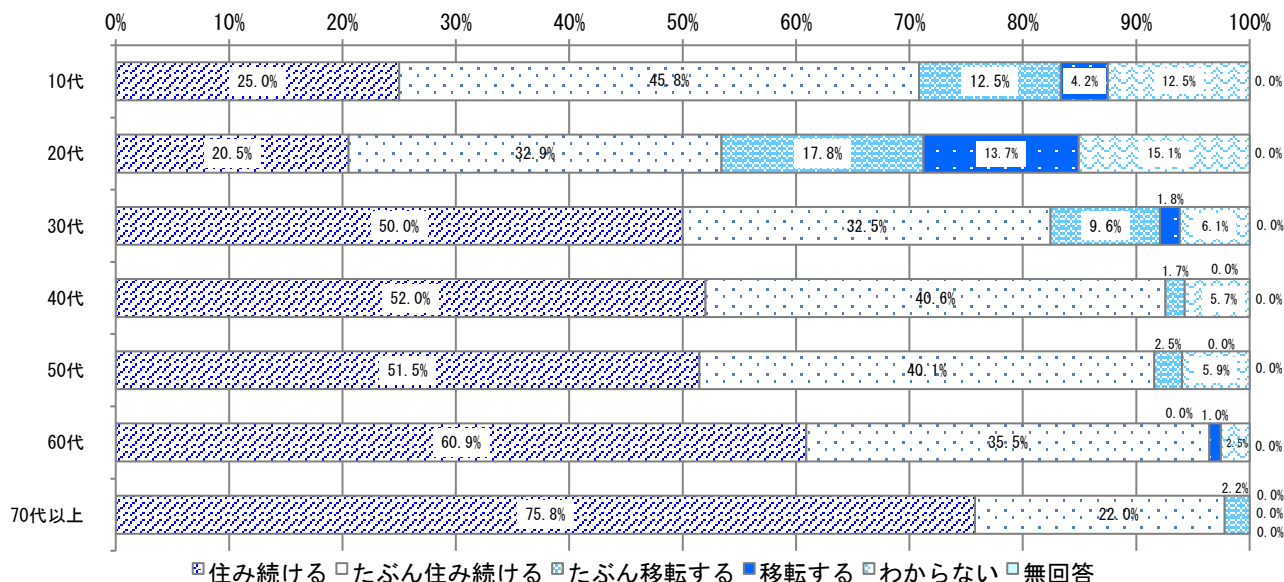
「1 住み続ける」が 2.6ポイント増加、「2 たぶん住み続ける」が 0.7ポイント増加した。前回調査と比較して全体的な傾向に変化は見られない。



【年代別の傾向】

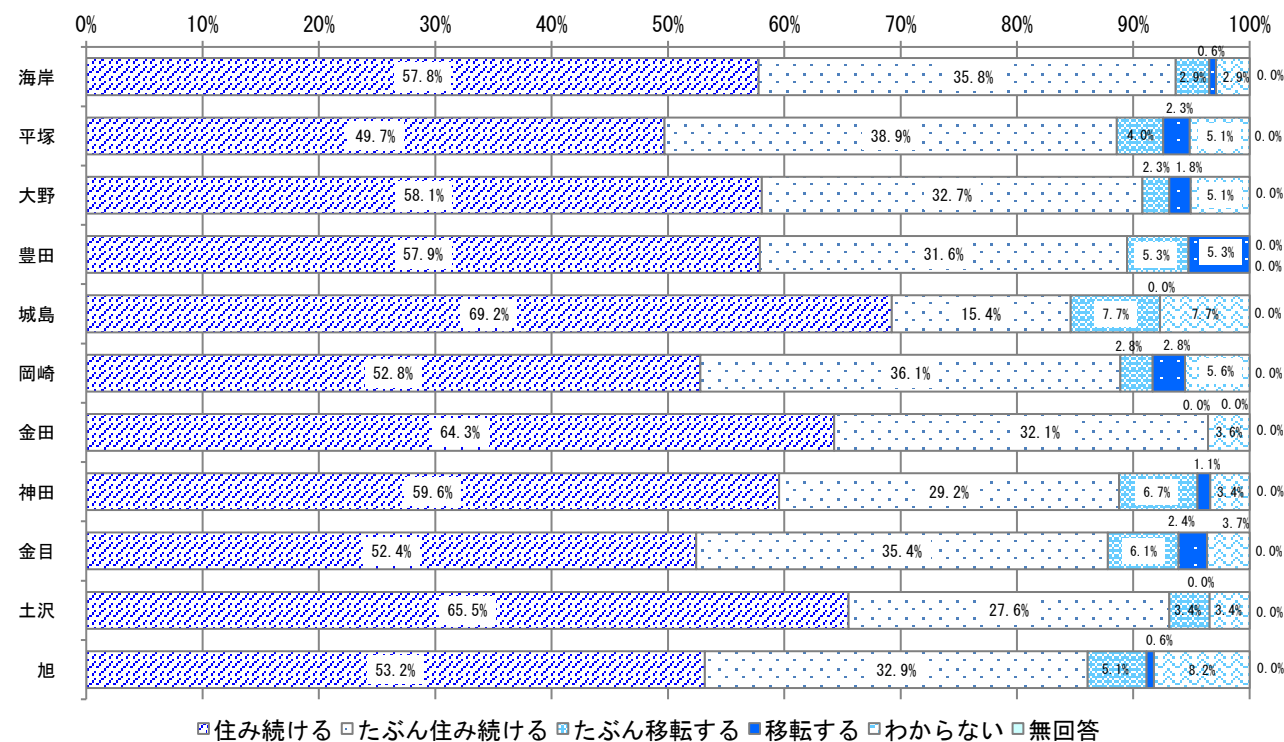
「1 住み続ける」と「2 たぶん住み続ける」を合わせた『定住意向』は、10代では70.8%、20代では53.4%となっているが、年代が上がるにしたがって増加する傾向にある。

一方、「3 たぶん移転する」と「4 移転する」を合わせた『移転意向』は20代が最も高く31.5%となっている。次いで、10代が16.7%と続いている。



【地区別の傾向】

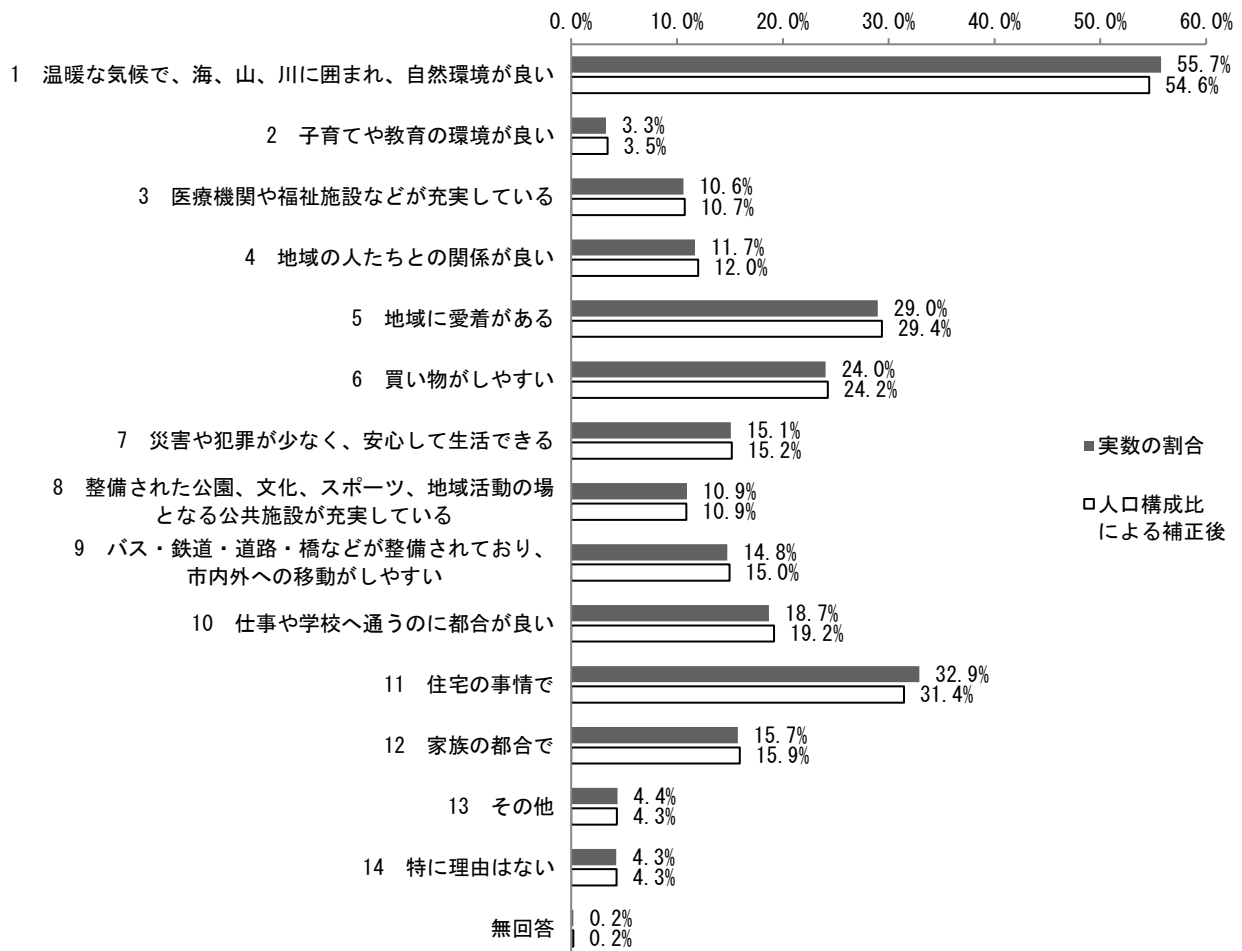
「1 住み続ける」と「2 たぶん住み続ける」を合わせた『定住意向』が最も高いのは金田地区で、96.4%となっている。一方、「3 たぶん移転する」と「4 移転する」を合わせた『移転意向』は豊田地区が10.6%で、最も高くなっている。



(問2)(問1)で「1」または「2」と答えた方。平塚市に住み続けようと思う主な理由はどのようなことですか。(〇は3つまで)

【全体の傾向】

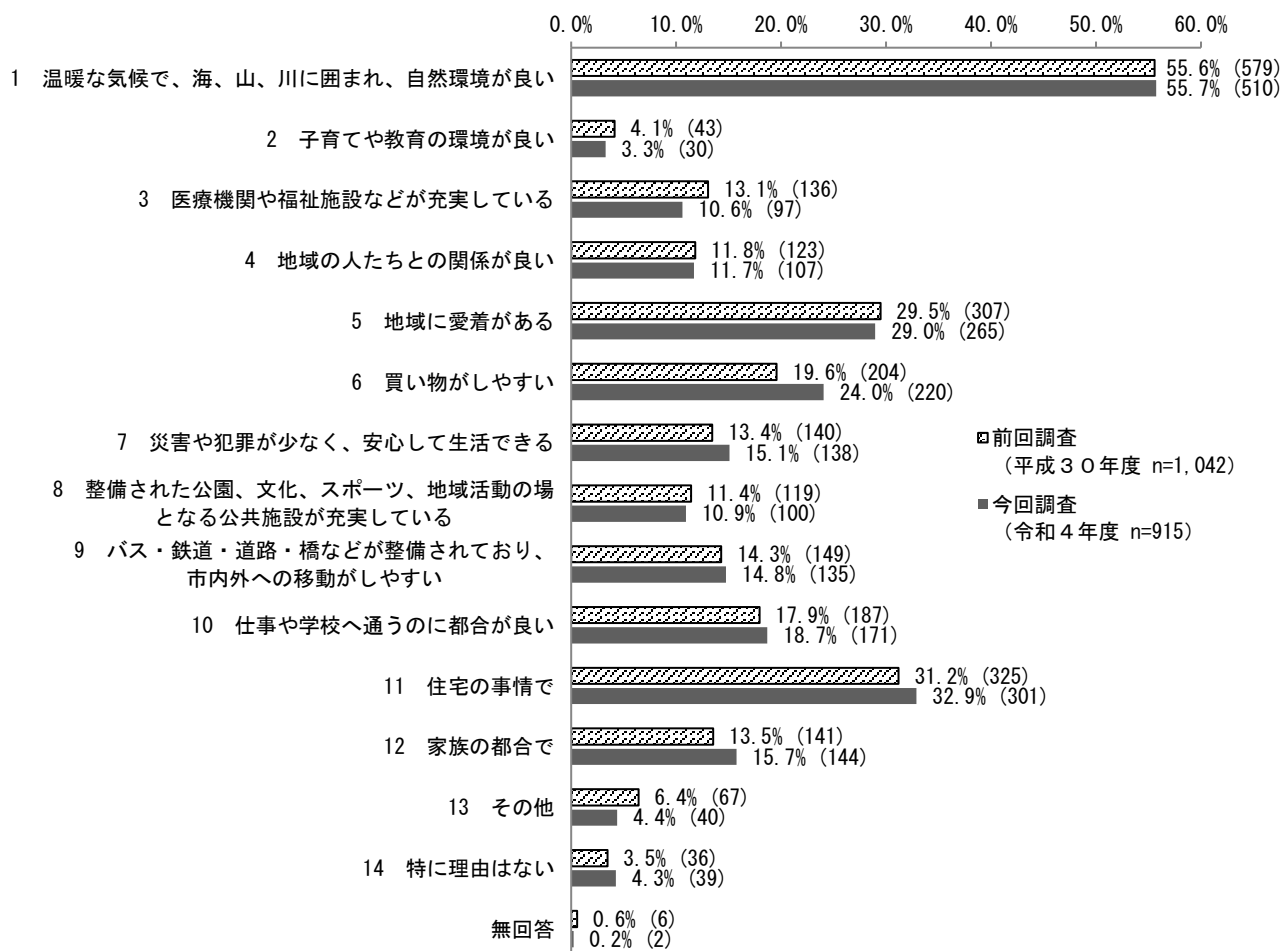
平塚市に住み続けようと思う主な理由は「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が55.7%で、最も高くなっている。次いで、「11 住宅の事情で」が32.9%、「5 地域に愛着がある」が29.0%、「6 買い物がしやすい」が24.0%と続いている。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と同様、「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が最も高くなった。
 前回調査から最も変化があったのは、4.4ポイント増加した「6 買い物がしやすい」であった。
 一方、「3 医療機関や福祉施設などが充実している」が2.5ポイント減少となった。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

40代以上では「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が最も高い。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	地域に愛着がある 22.0%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 19.5%	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 14.6%	地域の人たちとの関係が良い／家族の都合で 9.8%	
20代	買い物がしやすい 18.5%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 16.0%	地域に愛着がある／家族の都合で 11.1%		温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 9.9%
30代	仕事や学校へ通うのに都合が良い 15.8%	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 14.0%	地域に愛着がある／住宅の事情で 13.6%		買い物がしやすい 11.0%
40代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 19.2%	住宅の事情で 17.7%	地域に愛着がある 12.6%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 10.3%	家族の都合で 10.0%
50代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 23.3%	住宅の事情で 12.7%	地域に愛着がある 12.3%	買い物がしやすい 10.3%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 8.6%
60代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 25.1%	住宅の事情で 14.9%	地域に愛着がある 10.6%	買い物がしやすい 9.1%	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい 7.2%
70代以上	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 26.3%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 11.4%	住宅の事情で 10.2%	地域に愛着がある 9.9%	買い物がしやすい 8.5%

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

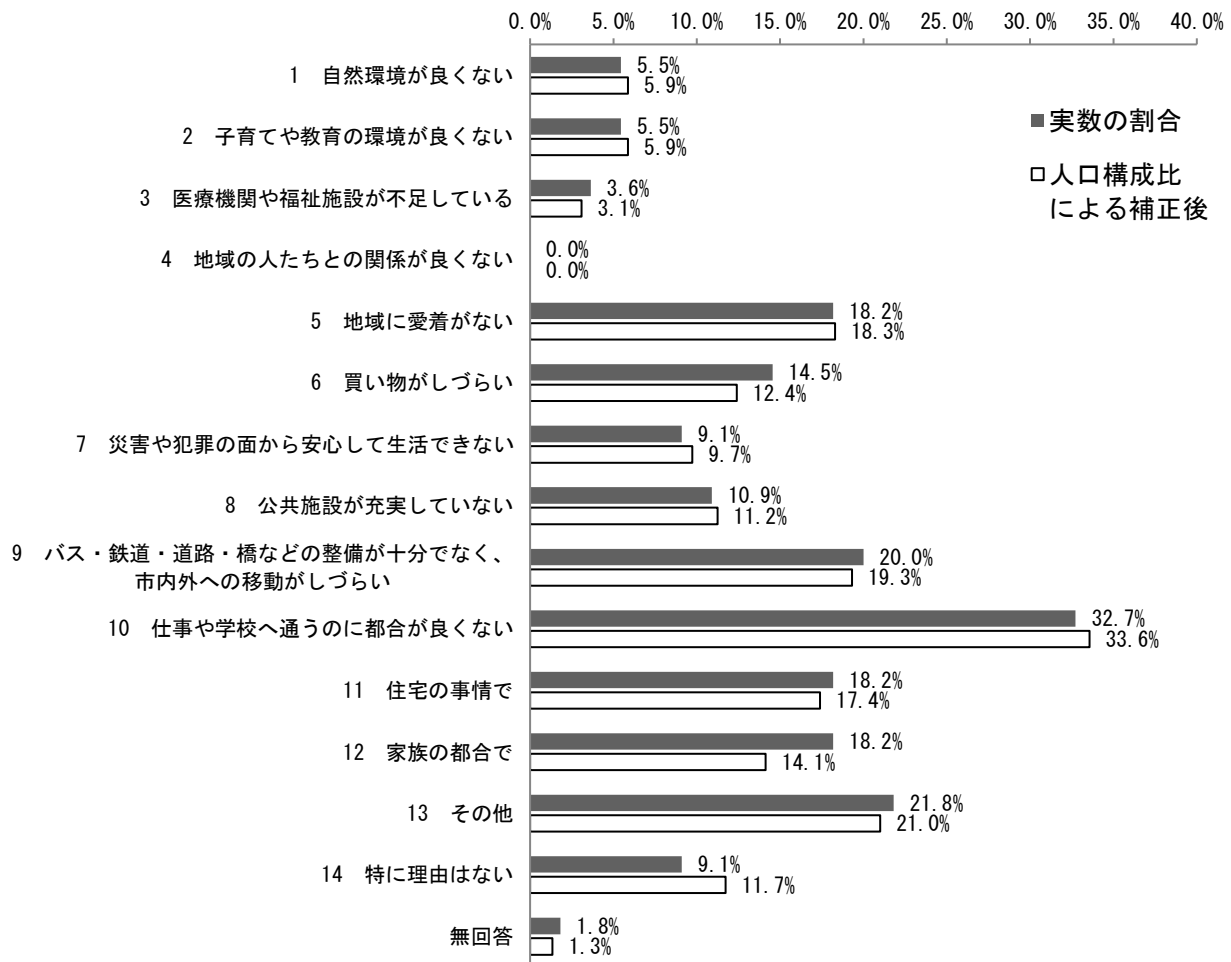
9地区で「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が最も高くなった。また、7つの地区で「11 住宅の事情で」が2位になった。

	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 25.3%	住宅の事情で 12.6%	買い物がしやすい 10.1%	地域に愛着がある 9.1%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 7.7%
平塚	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 23.1%	地域に愛着がある 12.3%	買い物がしやすい 11.1%	住宅の事情で 9.9%	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい 7.0%
大野	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 19.5%	地域に愛着がある 11.9%	住宅の事情で 10.1%	買い物がしやすい 9.7%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 8.4%
豊田	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 22.2%	住宅の事情で 13.9%	地域に愛着がある／仕事や学校へ通うのに都合が良い 11.1%		災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 8.3%
城島	住宅の事情で 26.1%	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 21.7%	地域に愛着がある 17.4%	地域の人たちとの関係が良い／家族の都合で 8.7%	
岡崎	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 23.5%	住宅の事情で 19.8%	地域の人たちとの関係が良い 14.8%	地域に愛着がある 11.1%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 8.6%
金田	地域に愛着がある 18.8%	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い／住宅の事情で 17.4%		仕事や学校へ通うのに都合が良い／家族の都合で 8.7%	
神田	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 18.9%	住宅の事情で 14.3%	地域に愛着がある／買い物がしやすい 12.8%		災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 10.7%
金目	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 25.1%	住宅の事情で 17.4%	地域に愛着がある 10.8%	家族の都合で 9.6%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 8.4%
土沢	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 22.6%	地域に愛着がある 17.7%	住宅の事情で 16.1%	家族の都合で 11.3%	地域の人たちとの関係が良い 9.7%
旭	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 22.0%	住宅の事情で 15.1%	買い物がしやすい 11.9%	地域に愛着がある 9.8%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 6.2%

(問3) (問1) で「3」または「4」と答えた方。市外に移転しようと思う主な理由はどのようなことですか。(〇は3つまで)

【全体の傾向】

問1で市外への移転意向を持つと答えた5.4%の方に聞いたところ、その理由としては「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が32.7%と最も高くなった。次いで、「13 その他」が21.8%、「9 バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい」が20.0%と続いている。

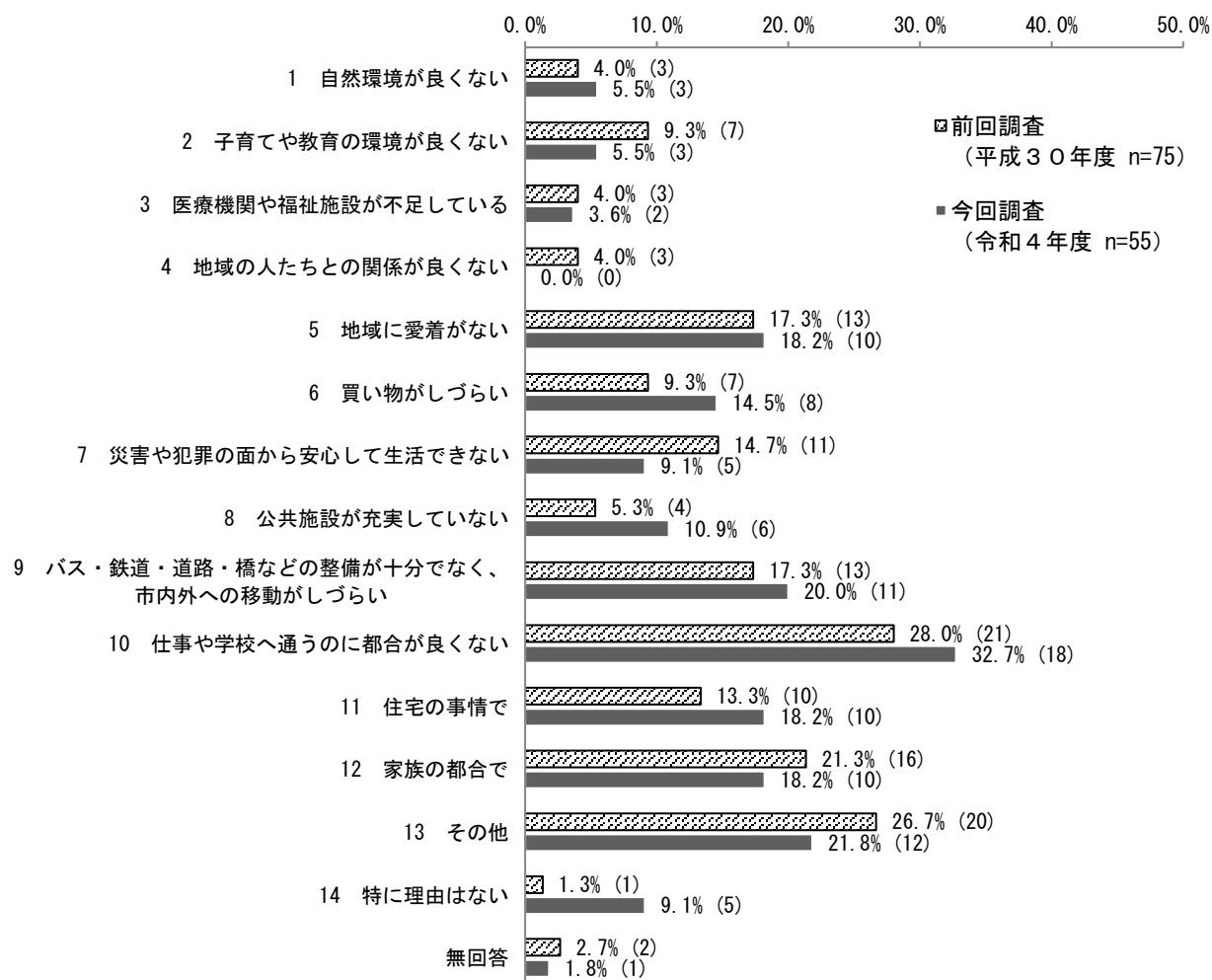


【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と比較して大きく変化が見られた項目として、「14 特に理由はない」が7.8ポイント、「8 公共施設が充実していない」が5.6ポイント、「6 買い物がしづらい」が5.2ポイント増加している。

一方、「7 災害や犯罪の面から安心して生活できない」が5.6ポイント減少している。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

20代、30代及び40代では「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が最も高かった。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	地域に愛着がない／特に理由はない 33.3%		公共施設が充実していない／仕事や学校へ通うのに都合が良くない 16.7%		
20代	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 23.1%	バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい／その他 12.8%		住宅の事情で 10.3%	災害や犯罪の面から安心して生活できない 7.7%
30代	仕事や学校へ通うのに都合が良くない／家族の都合で 17.9%		地域に愛着がない 14.3%	その他 10.7%	買い物がしづらい 7.1%
40代	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 28.6%	地域に愛着がない／バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい／家族の都合で／その他 14.3%			
50代		買い物がしづらい／バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい／住宅の事情で／家族の都合で 20.0%			公共施設が充実していない 10.0%
60代	家族の都合で／その他 50.0%				
70代以上	買い物がしづらい 25.0%	住宅の事情で／その他 16.7%	医療機関や福祉施設が不足している／地域に愛着がない／災害や犯罪の面から安心して生活できない／公共施設が充実していない／バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい 8.3%		

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が、11地区中5つの地区で最も高くなっている。

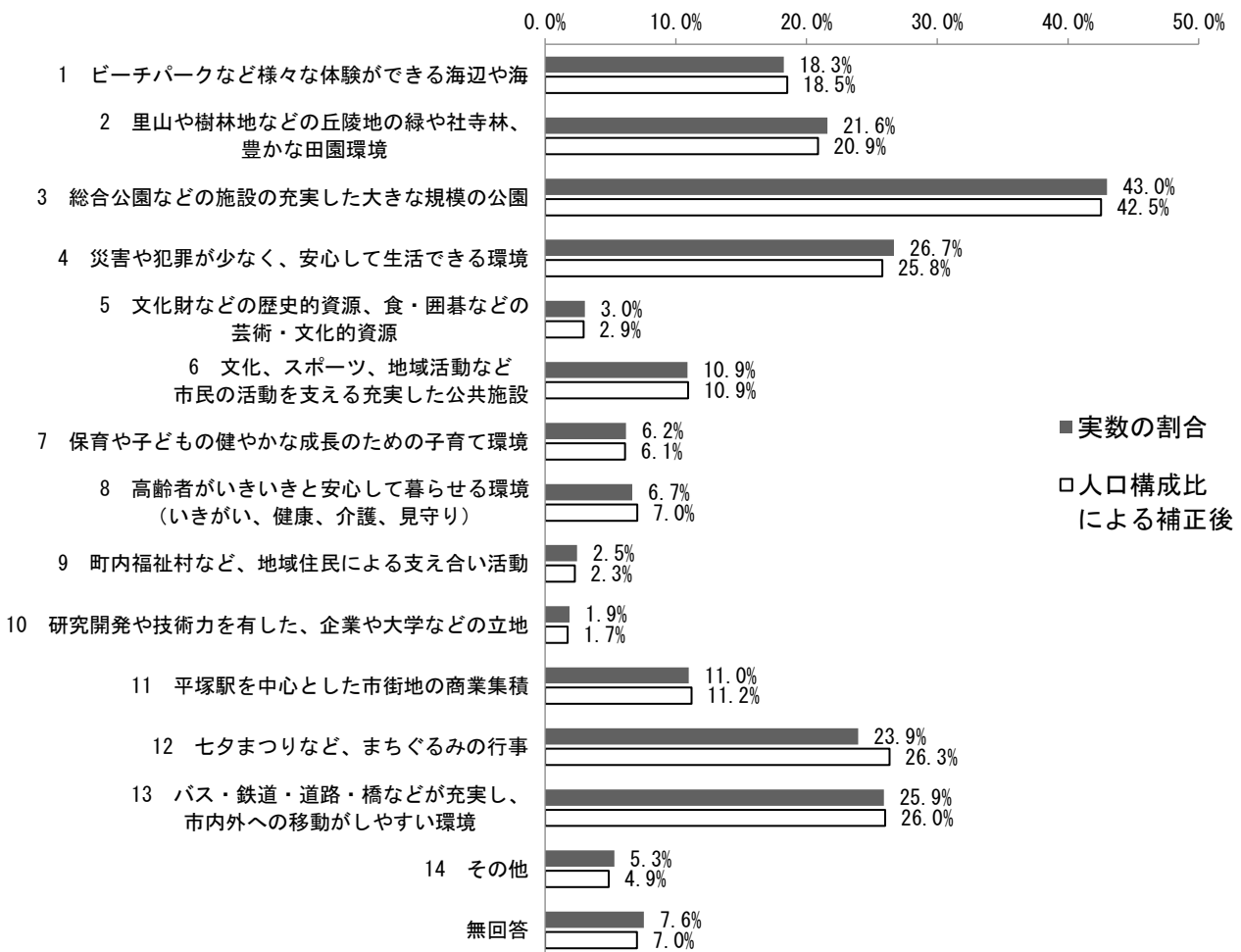
	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	地域に愛着がない／家族の都合で 25.0%		仕事や学校へ通うのに都合が良くない／その他／特に理由はない 12.5%		
平塚	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 31.3%	その他 18.8%	家族の都合で 12.5%	子育てや教育の環境が良くない／地域に愛着がない／買い物がしづらい／バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい／住宅の事情で 6.3%	
大野	その他 18.8%	地域に愛着がない／バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい／仕事や学校へ通うのに都合が良くない／住宅の事情で 12.5%			
豊田	子育てや教育の環境が良くない／地域に愛着がない／買い物がしづらい／公共施設が充実していない／バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい／仕事や学校へ通うのに都合が良くない 16.7%				
城島	買い物がしづらい／仕事や学校へ通うのに都合が良くない／その他 33.3%				
岡崎	買い物がしづらい／バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい／仕事や学校へ通うのに都合が良くない／特に理由はない 25.0%				
金田					
神田	1 その他 18.8%	地域に愛着がない／仕事や学校へ通うのに都合が良くない 12.5%	子育てや教育の環境が良くない／医療機関や福祉施設が不足している／買い物がしづらい／災害や犯罪の面から安心して生活できない／公共施設が充実していない／バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい／住宅の事情で／家族の都合で 6.3%		
金目	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 25.0%	バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい 18.8%	家族の都合で 12.5%	自然環境が良くない／医療機関や福祉施設が不足している／地域に愛着がない／災害や犯罪の面から安心して生活できない 6.3%	
土沢	買い物がしづらい／公共施設が充実していない／バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい 33.3%				
旭	住宅の事情で 18.8%	災害や犯罪の面から安心して生活できない／公共施設が充実していない／家族の都合で 12.5%		自然環境が良くない 6.3%	

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

(問4) あなたが平塚市に魅力や誇りを感じるのは、どのようなことですか。 (〇は3つまで)

【全体の傾向】

「3 総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園」が43.0%と最も高くなっている。次いで、「4 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境」が26.7%、「13 バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境」が25.9%、「12 セタまつりなど、まちぐるみの行事」が23.9%と続いている。

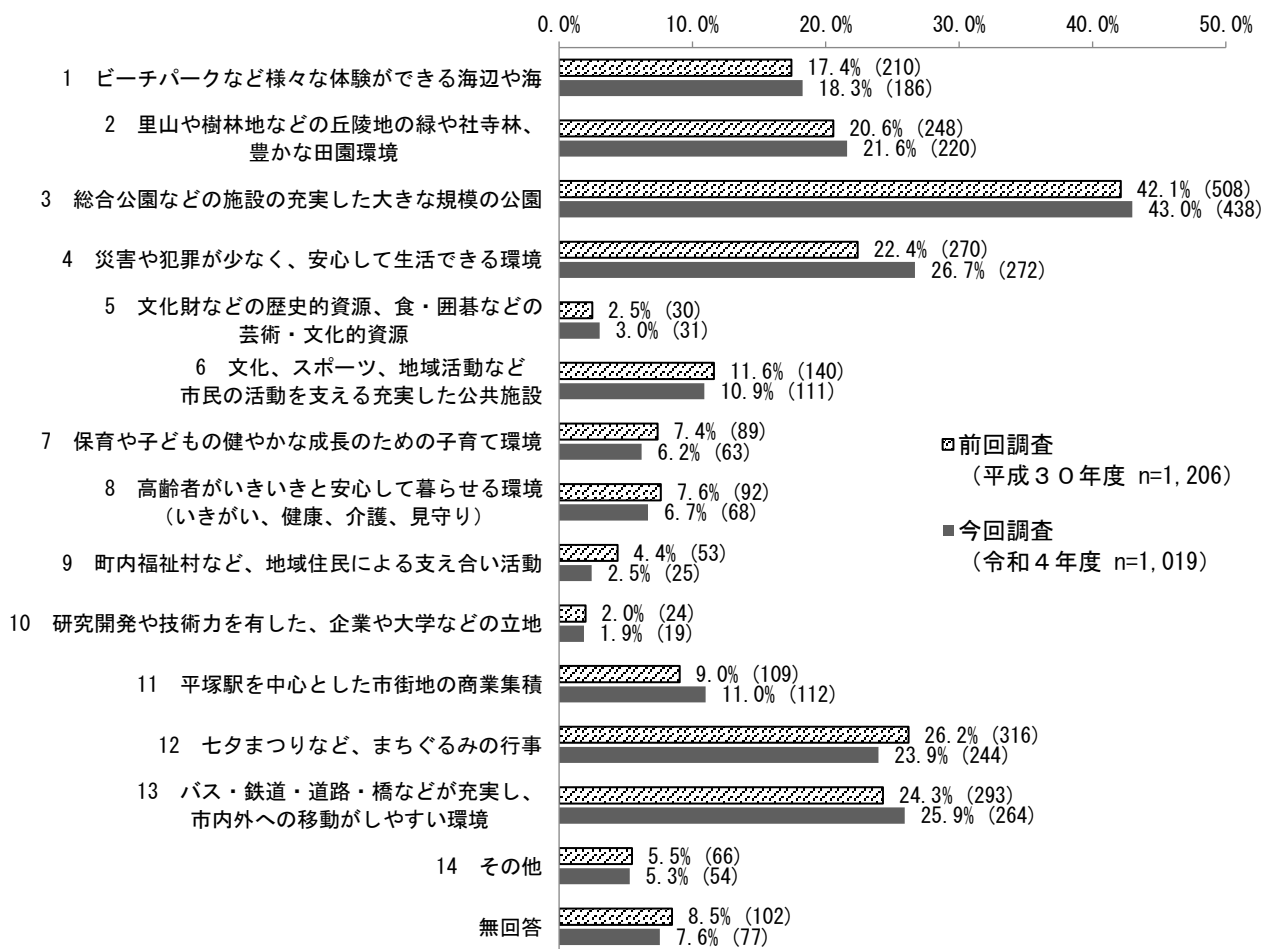


【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

今回の調査で最も高くなった「3 総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園」は前回調査においても最も高くなっている。2番目に高い「4 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境」は、4.3ポイント増加し、前回調査から最も増加した項目となっている。

前回調査で2番目に高かった「12 七夕まつりなど、まちぐるみの行事」は2.3ポイント減少し、「13 バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境」に次ぐ4番目となっている。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

「3 総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園」は10代を除くどの年代においても2位以上となっており、年代を問わず平塚市の魅力と感じられている。

「12 七夕まつりなど、まちぐるみの行事」は10代から50代で上位に、「4 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境」は50代以上で上位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 29.8%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 15.8%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 14.0%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 12.3%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 8.8%
20代	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 27.0%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 20.4%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 12.4%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 10.2%	文化、スポーツ、地域活動など市民の活動を支える充実した公共施設 7.3%
30代	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 27.5%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 16.3%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 12.1%	平塚駅を中心とした市街地の商業集積／バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 9.2%	
40代	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 21.3%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 15.3%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 11.2%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 10.6%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 8.8%
50代	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 17.7%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 13.4%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 13.0%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事／バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 11.1%	
60代	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 21.6%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 16.5%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 13.9%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 11.3%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 7.0%
70代以上	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 21.7%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 17.3%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 13.7%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 10.3%	高齢者がいきいきと安心して暮らせる環境（いきがい、健康、介護、見守り） 9.1%

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

「3 総合公園など施設の充実した大きな規模の公園」は7地区で1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 19.2%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 16.9%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 12.0%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 11.5%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 10.5%
平塚	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 21.1%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 12.2%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 11.9%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 11.7%	文化、スポーツ、地域活動など市民の活動を支える充実した公共施設 8.6%
大野	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 26.2%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 12.4%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 11.6%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 11.0%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 7.4%
豊田	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 16.7%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 14.3%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境／文化、スポーツ、地域活動など市民の活動を支える充実した公共施設／七夕まつりなど、まちぐるみの行事 9.5%		
城島	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 23.1%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境／七夕まつりなど、まちぐるみの行事 11.5%		里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境／文化、スポーツ、地域活動など市民の活動を支える充実した公共施設／平塚駅を中心とした市街地の商業集積／バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 7.7%	
岡崎	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 18.4%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 17.1%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 15.8%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 11.8%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 7.9%
金田	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 26.6%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境／バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 14.1%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 12.5%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 10.9%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 10.9%
神田	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 19.6%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 19.0%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 17.9%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 9.2%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 6.0%
金目	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 19.7%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 17.8%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 13.2%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 9.9%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 7.2%
土沢	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 23.1%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境／七夕まつりなど、まちぐるみの行事 13.5%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 11.5%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 9.6%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 9.6%
旭	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 16.0%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 13.2%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 12.5%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 11.9%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 11.6%

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

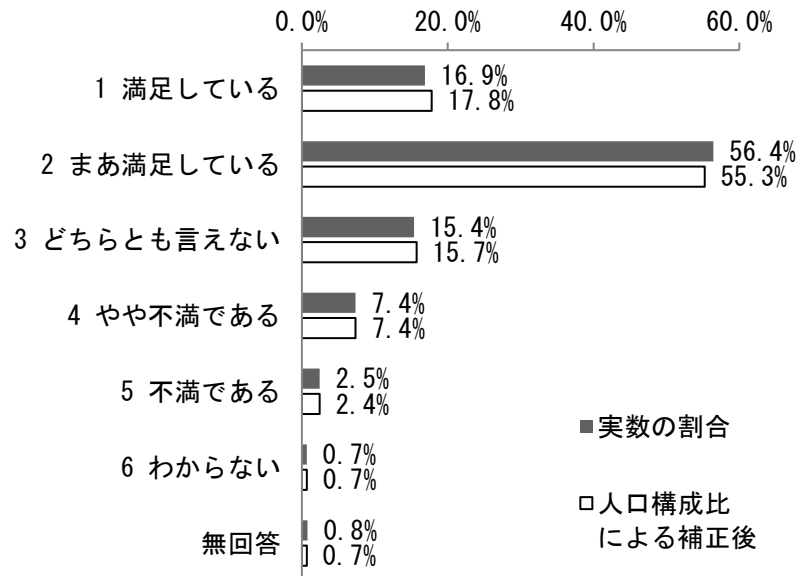
【2】 生活の満足感や、困っていること・心配ごとについて

(問5) あなたは、現在のご自分の生活にどの程度満足していますか。(○は1つ)

【全体の傾向】

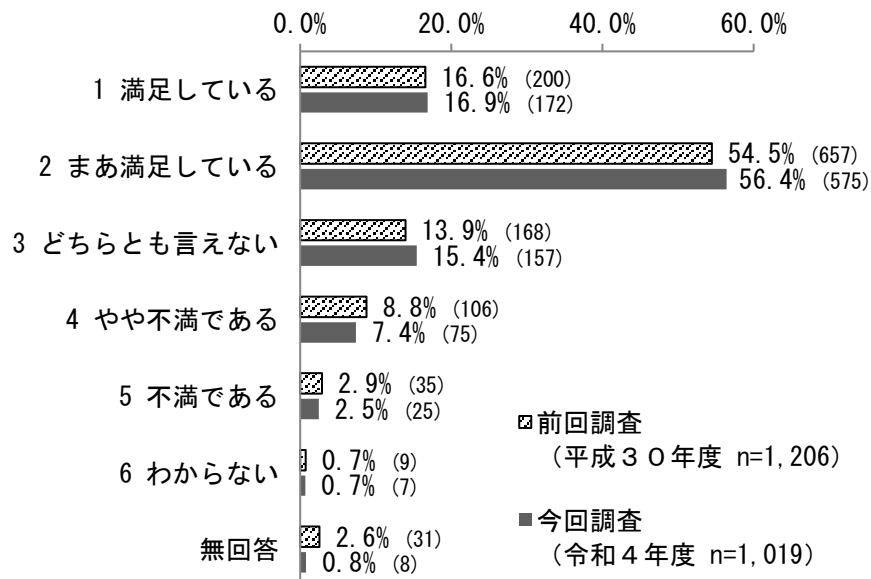
「2 まあ満足している」が56.4%で最も高く、「1 満足している」の16.9%と合わせると7割以上(73.3%)の人が満足していることになる。

一方、「4 やや不満である」と「5 不満である」と回答した人は、合わせて9.9%であった。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「1 満足している」と「2 まあ満足している」の合計では、2.2ポイント増加し、「4 やや不満である」と「5 不満である」の合計は、1.8ポイント減少した。

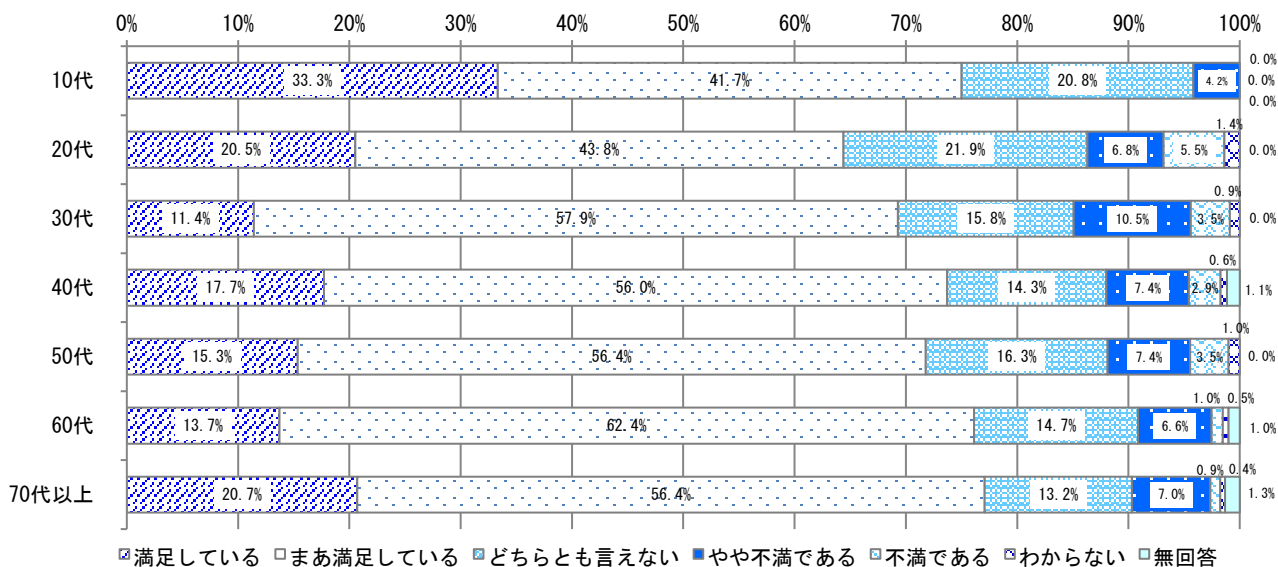


【注：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

「1 満足している」と「2 まあ満足している」を合わせた割合は、70代以上が77.1%と最も高く、次に60代が76.1%と続き、20代が64.3%と最も低くなっている。

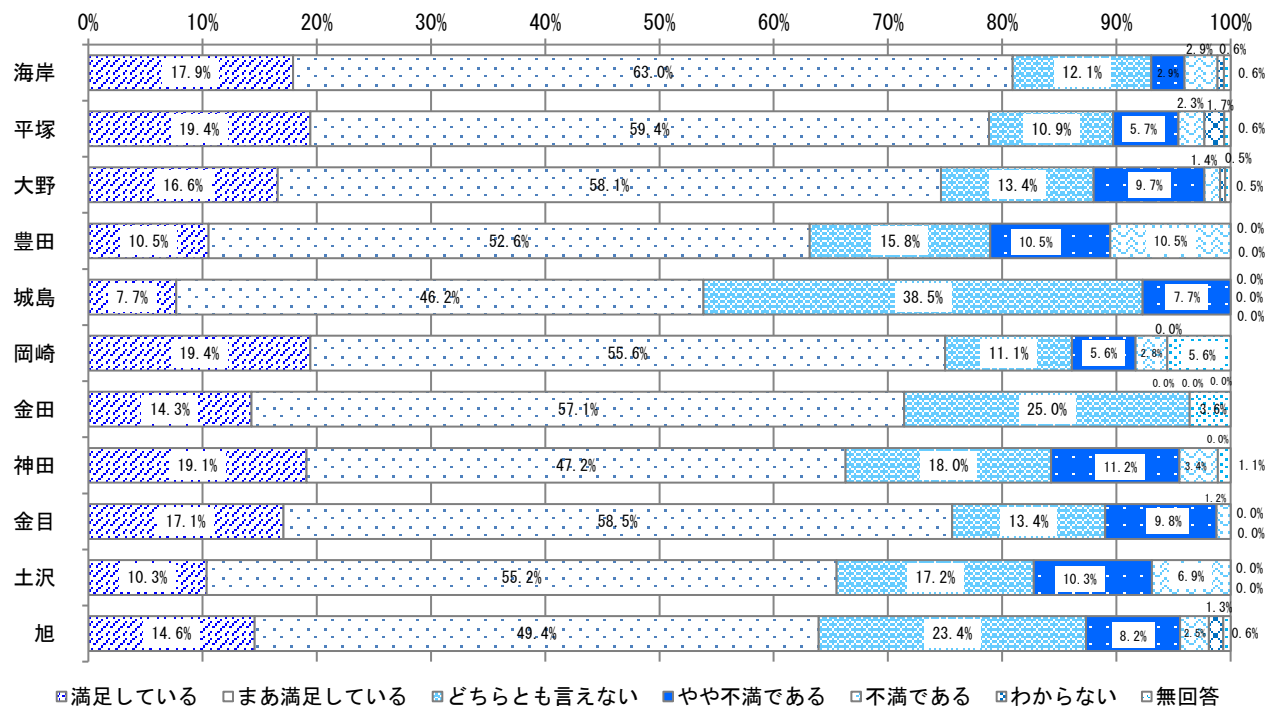
また、「4 やや不満である」と「5 不満である」を合わせた割合は、30代が14.0%と全年代を通して最も高くなっている。



【地区別の傾向】

「1 満足している」と「2 まあ満足している」を合わせた割合は、海岸地区が最も高く80.9%、次いで平塚地区が78.8%となっている。

また、「4 やや不満である」と「5 不満である」を合わせた割合は、豊田地区が最も高く、21.0%となっている。

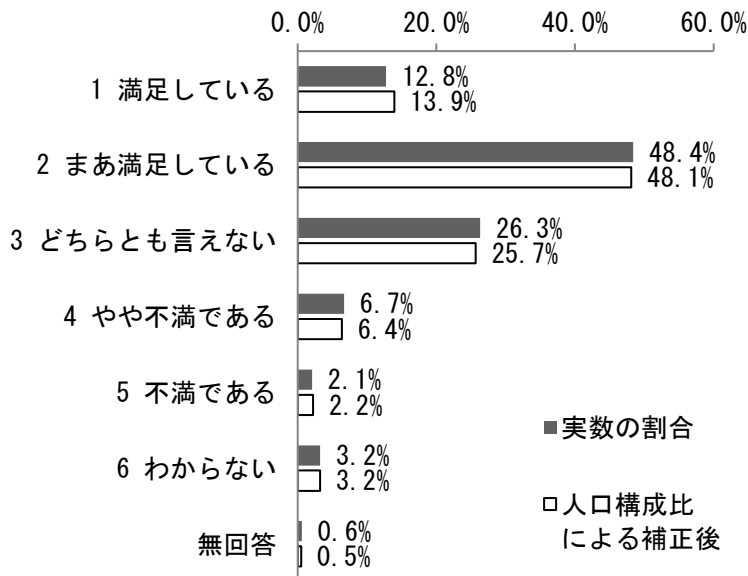


(問6) あなたは、現在のご自分の交友関係やコミュニティなど社会とのつながりにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

【全体の傾向】

「2 まあ満足している」が48.4%で最も高く、「1 満足している」の12.8%と合わせると61.2%の人が満足していることになる。

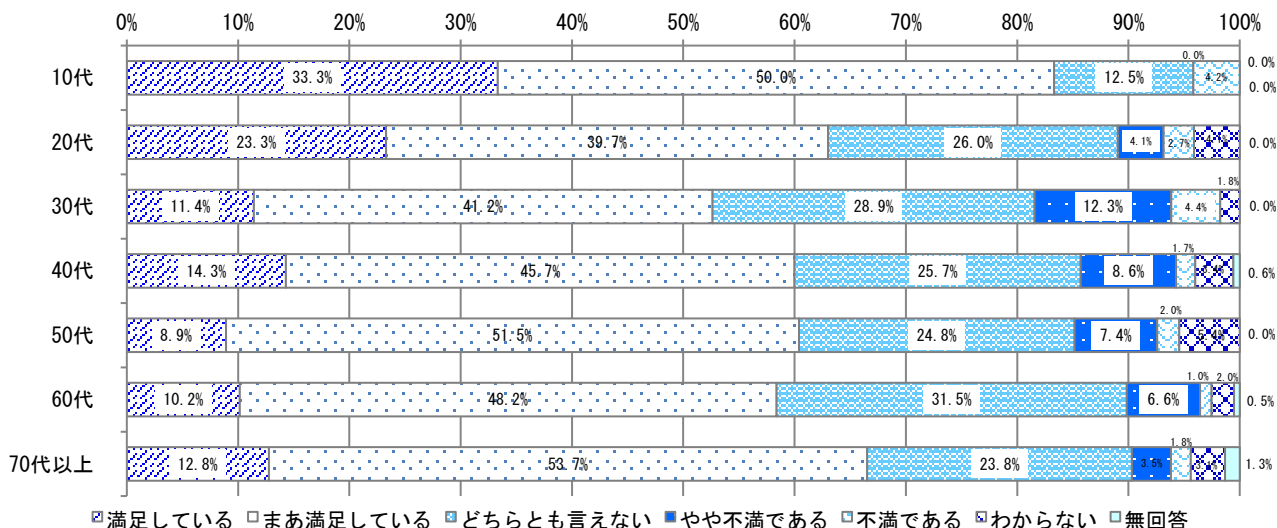
一方、「4 やや不満である」と「5 不満である」と回答した人は、合わせて8.8%であった。



【年代別の傾向】

「1 満足している」と「2 まあ満足している」を合わせた割合は、10代が83.3%と最も高く、30代が52.6%と最も低くなっている。

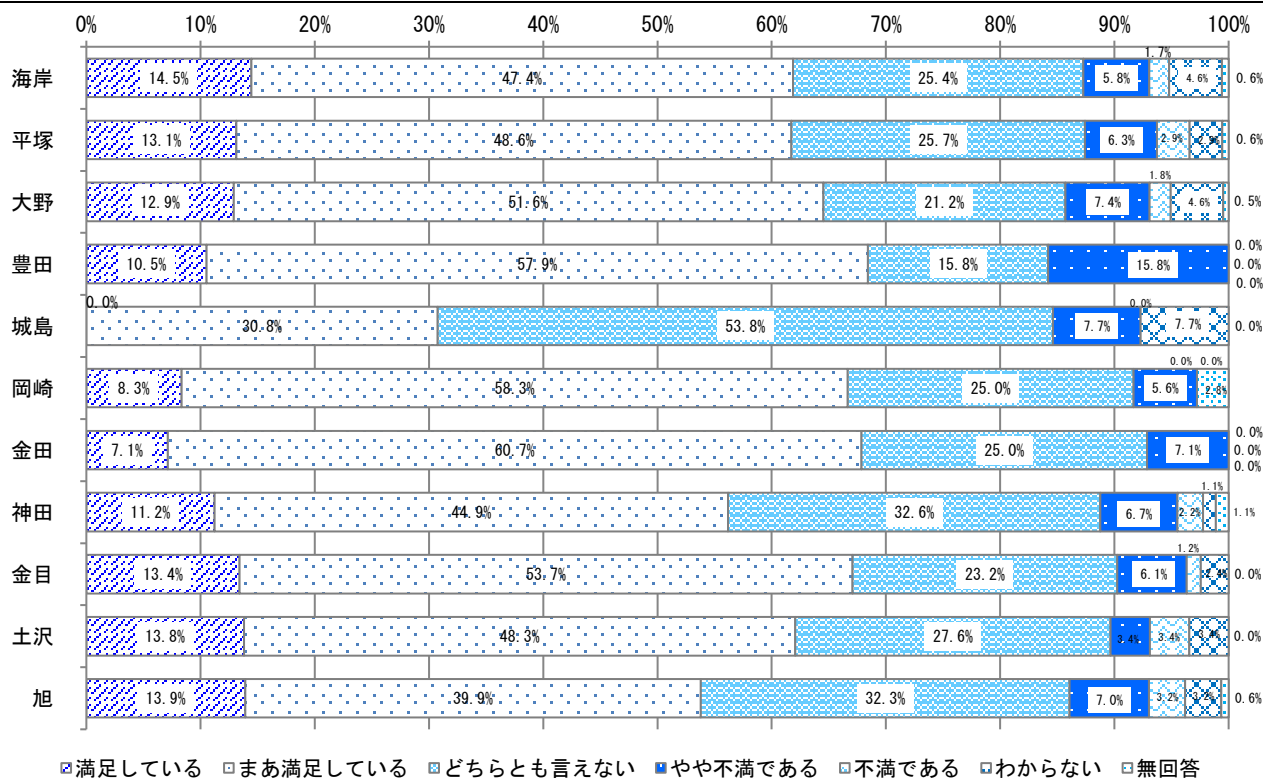
また、「4 やや不満である」と「5 不満である」を合わせた割合も、30代が16.7%と全年代を通して最も高くなっている。



【地区別の傾向】

「1 満足している」と「2 まあ満足している」を合わせた割合は、豊田地区が最も高く68.4%、次いで金田地区が67.8%、金目地区が67.1%となっている。

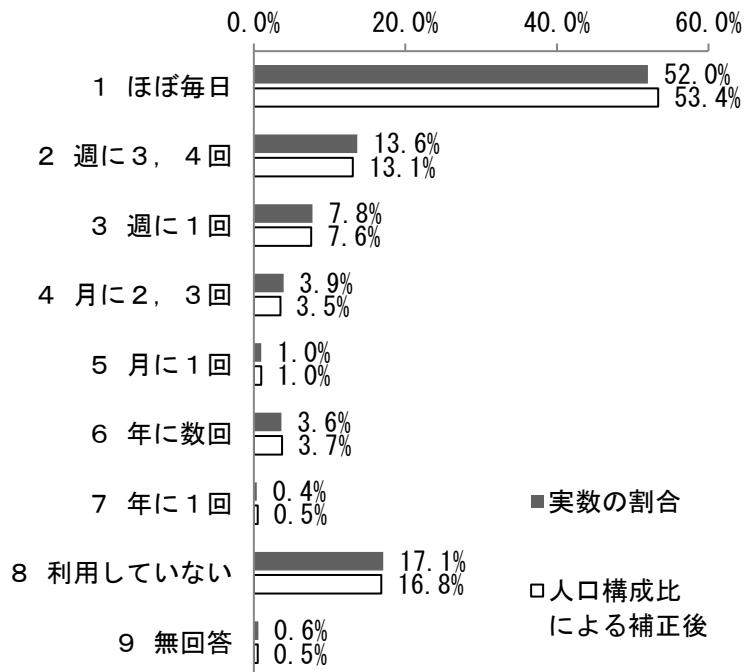
「4 やや不満である」と「5 不満である」を合わせた割合は、豊田地区が最も高く15.8%となっている。



(問7) あなたは、パソコンやスマートフォンを使った、SNS (Facebook、Twitter、LINE など) 上で、この1年間にどの程度コミュニケーションをとっていますか。(○は1つ)

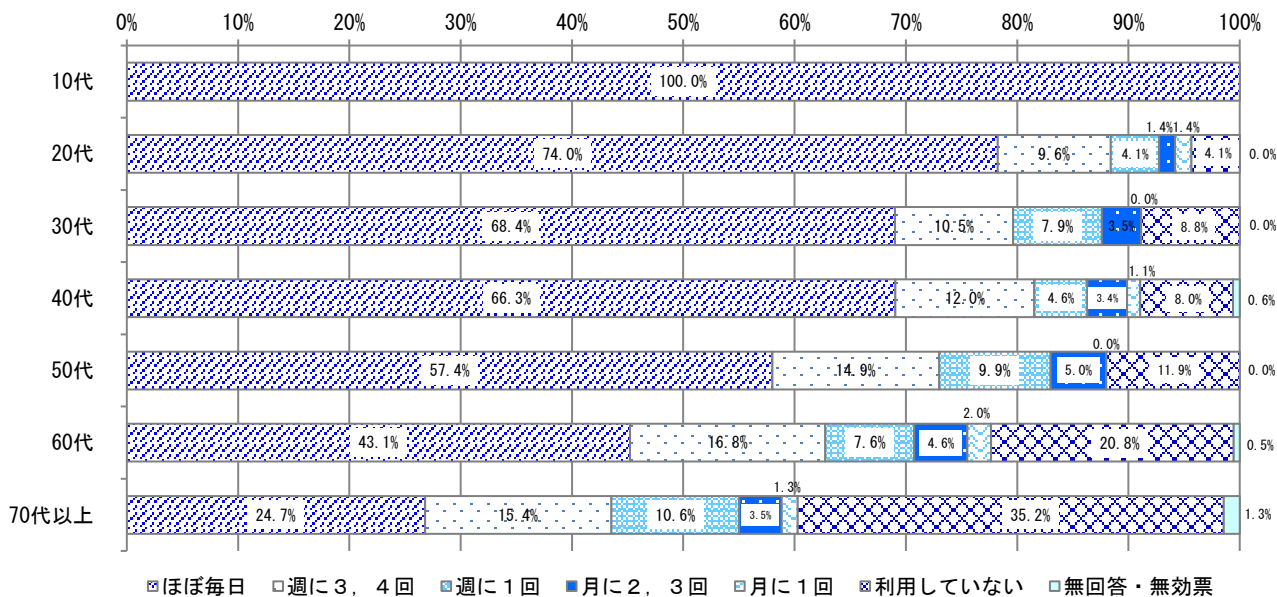
【全体の傾向】

「1 ほぼ毎日」が52.0%で最も高く、次いで「8 利用していない」が17.1%、「2 週に3, 4回」が13.6%となっている。



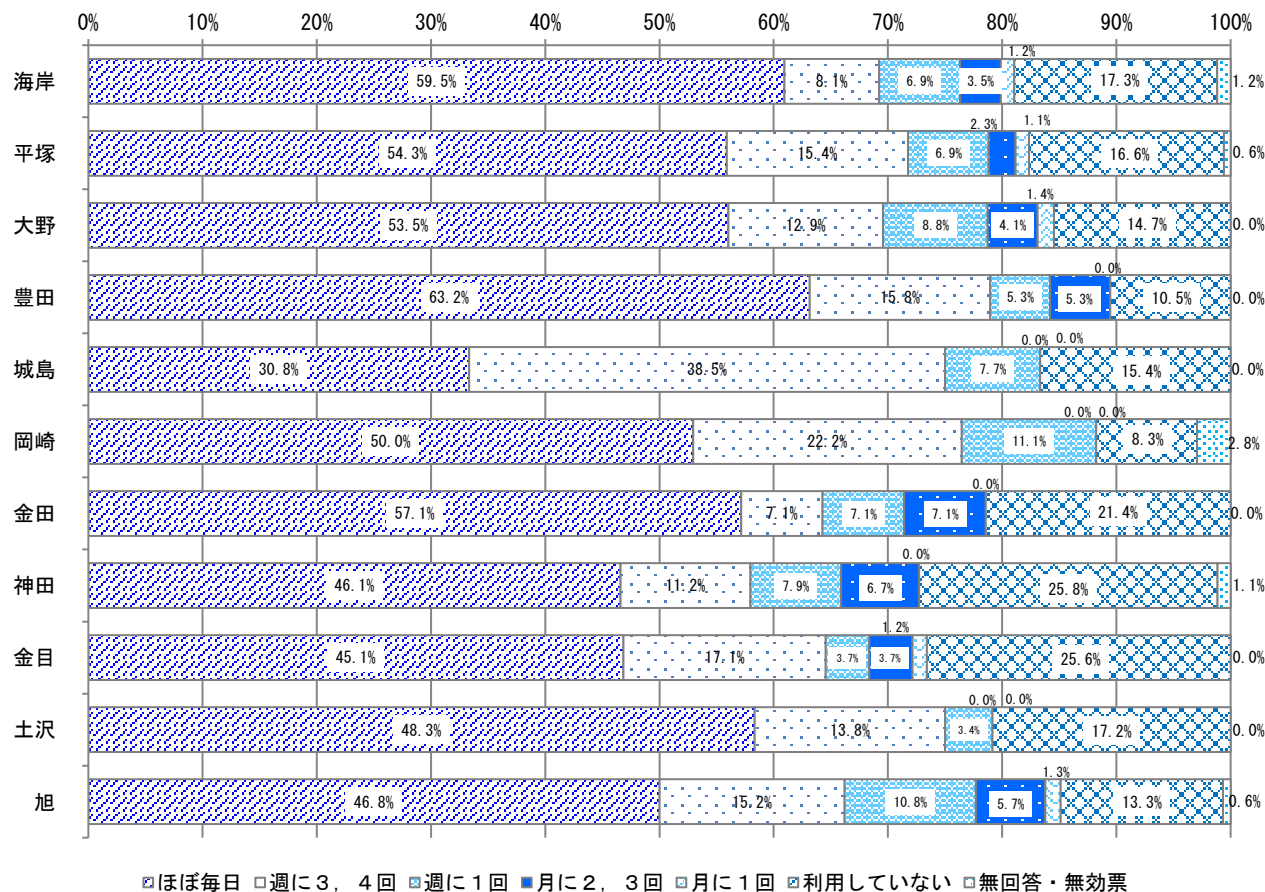
【年代別の傾向】

70代以上を除く全ての年代で1位が「ほぼ毎日」となり、10代では全ての回答者が「ほぼ毎日」となっている。一方、70代以上は「利用していない」が1位となった。



【地区別の傾向】

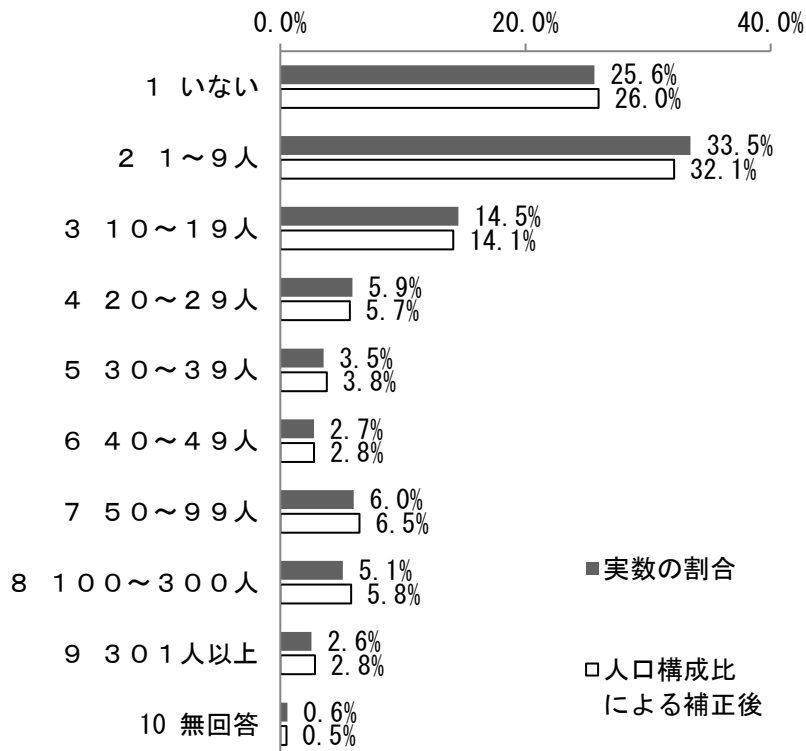
城島地区を除く全ての地区で1位「ほぼ毎日」となっている。
 城島地区は1位「週に3, 4回」、2位「ほぼ毎日」となっている。
 一方、「利用していない」が2割を超えたのは、金田地区、神田地区、金目地区となった。



(問8) あなたは、パソコンやスマートフォンを使った、SNS (Facebook、Twitter、LINE など) 上の友人が、どの程度いますか。(○は1つ)

【全体の傾向】

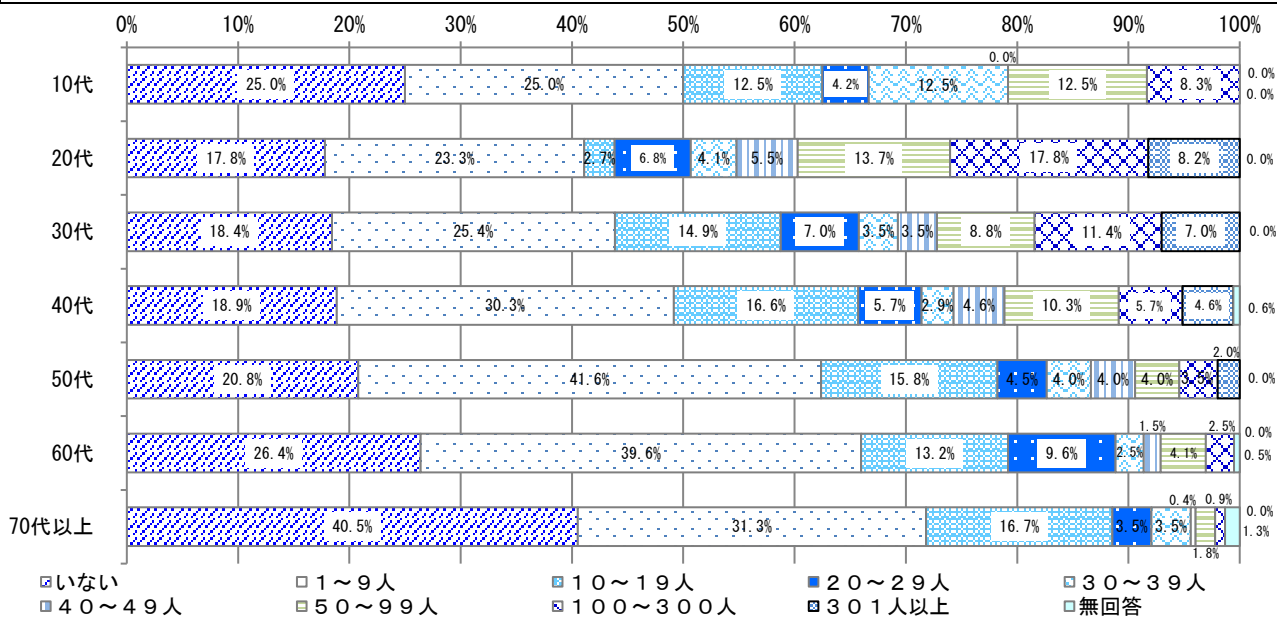
「2 1～9人」が33.5%と最も高く、次いで、「1 いない」が25.6%、「3 10～19人」が14.5%となっている。



【年代別の傾向】

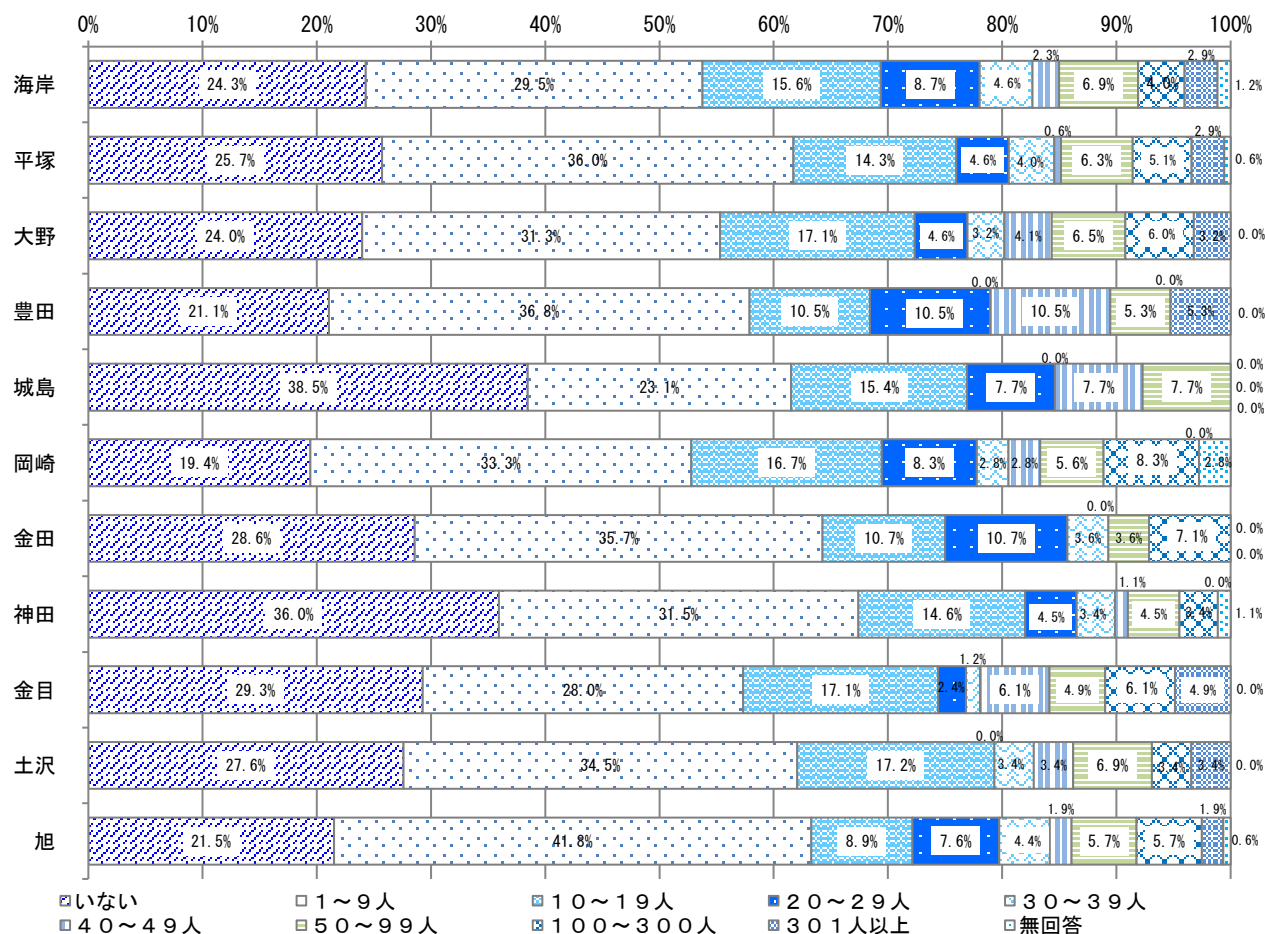
20代から60代では「2 1～9人」が最上位となっており、70代では「1 いない」が最上位となっている。

10代では、「1 いない」と「2 1～9人」が最上位となっている。



【地区別の傾向】

「2 1～9人」が全11地区のうち8地区で最も高くなっている。その他3地区では、「1 いない」が最も高くなっている。



【3】 まちづくりの状況について

(問9) 平塚市のまちづくりに対するあなたの「重要度」、「満足度」についてお答えください。

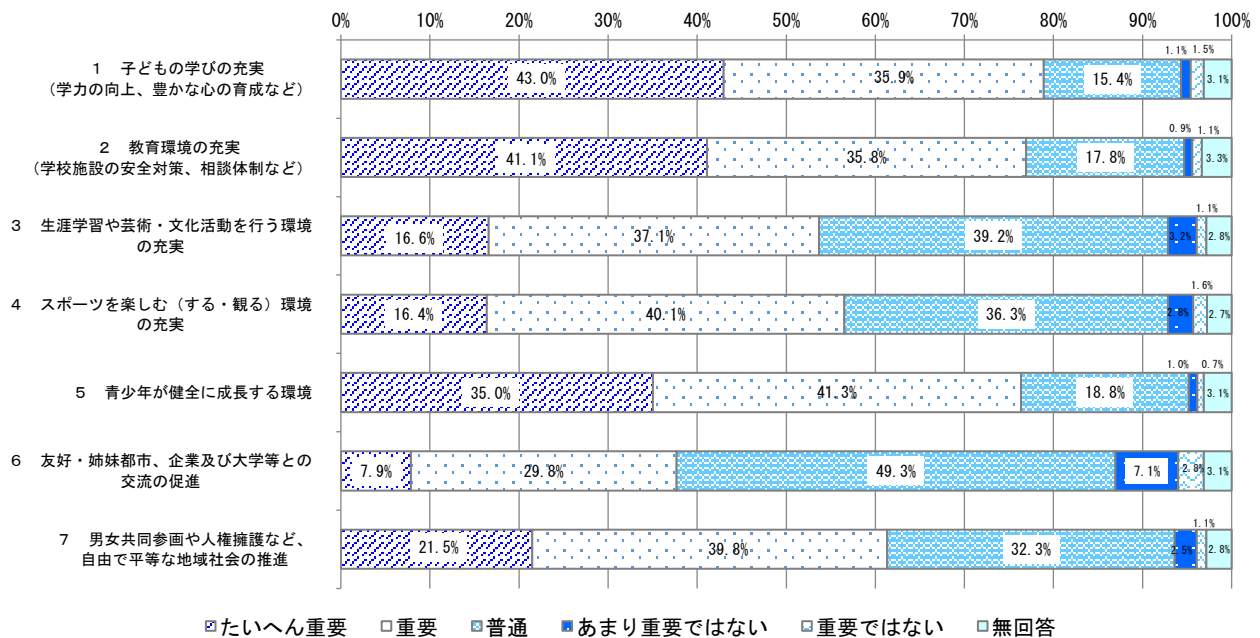
《分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり》

分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり「重要度」

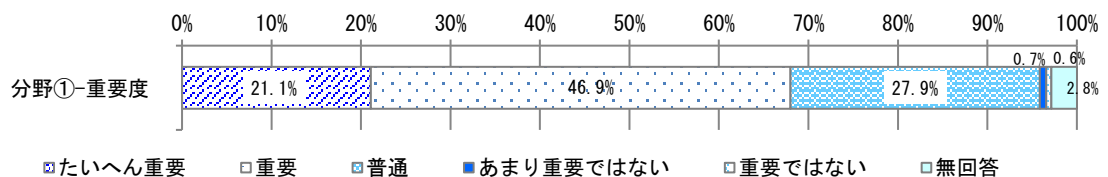
【全体の傾向】

「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『1 子どもの学びの充実』が78.9%、『2 教育環境の充実』が76.9%、『5 青少年が健全に成長する環境』が76.3%と高くなっている。

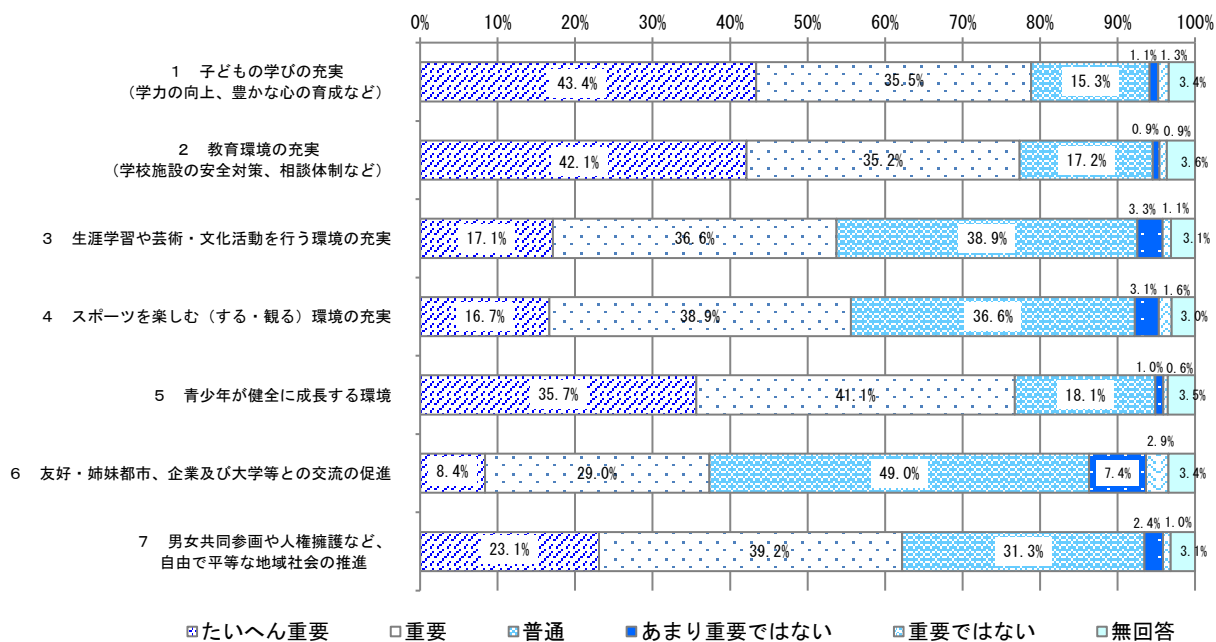
一方、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた「重要ではない」の割合は、『6 友好・姉妹都市、企業及び大学等との交流の促進』が9.9%と高くなっている。



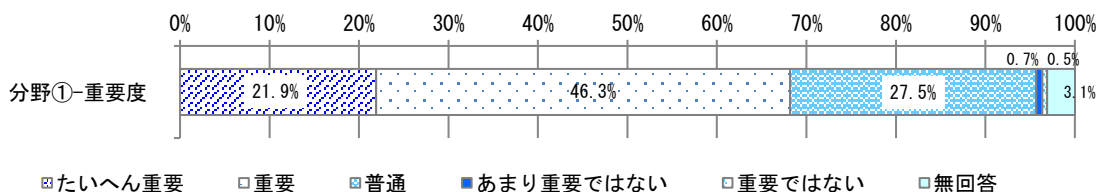
分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり 分野全体の「重要度」



分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり「重要度」(人口比補正後)



分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり 分野全体の「重要度」(人口比補正後)



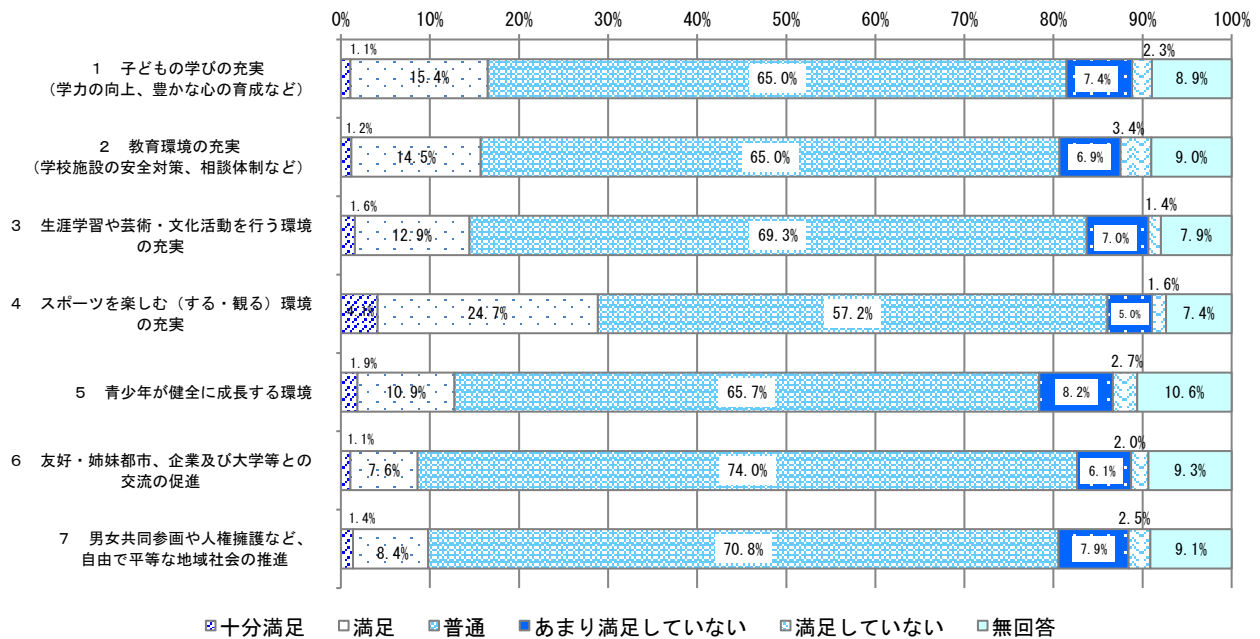
分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり「満足度」

【全体の傾向】

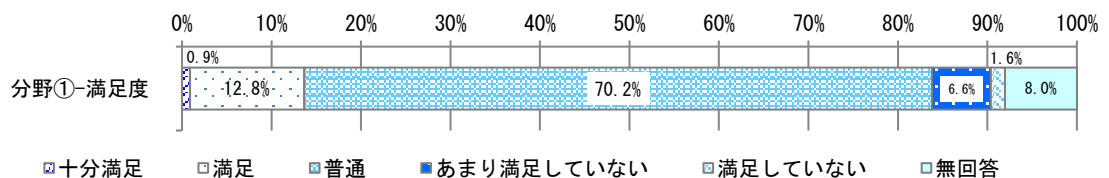
「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合では、『4 スポーツを楽しむ（する・観る）環境の充実』が28.8%と高くなっている。

一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合では、『5 青少年が健全に成長する環境』が10.9%、『7 男女共同参画や人権擁護など、自由で平等な地域社会の推進』が10.4%、『2 教育環境の充実』が10.3%と高くなっている。

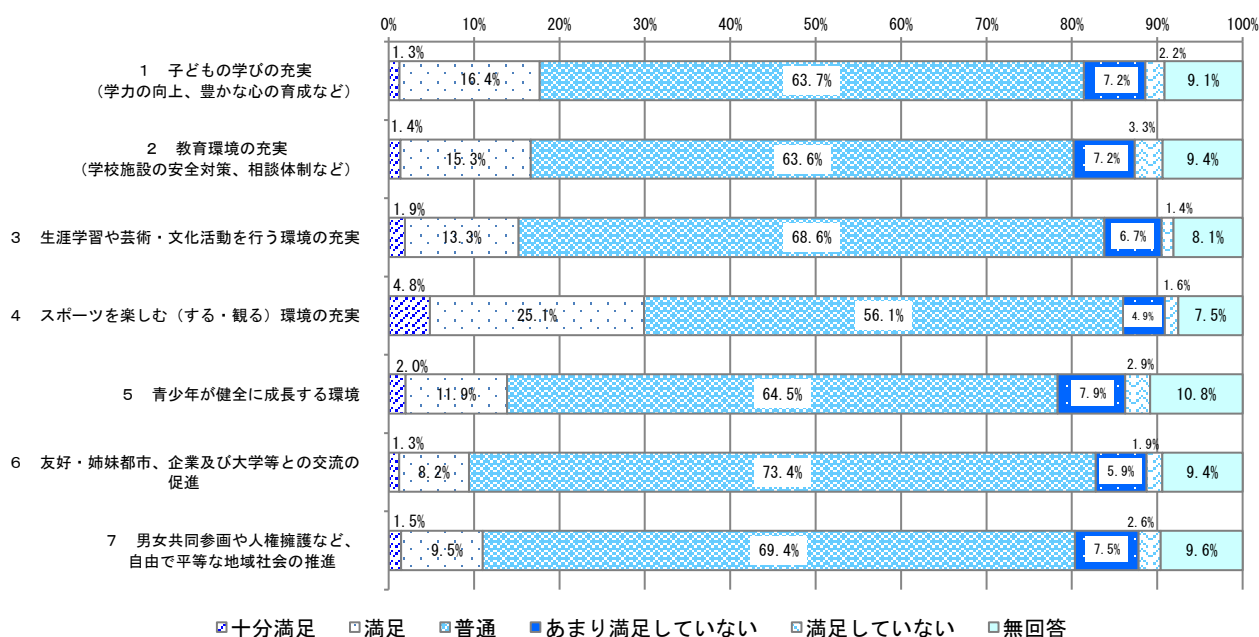
なお、「普通」の割合を見ると、この分野における全ての項目で5割を超えている。



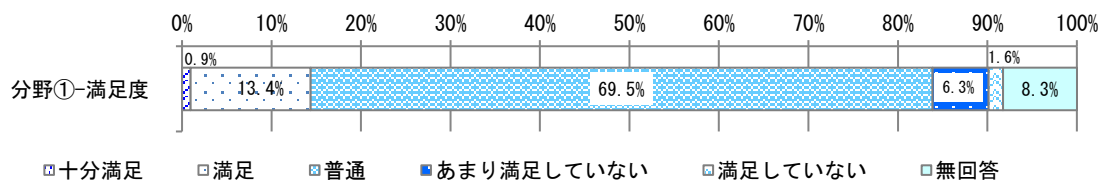
分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり 分野全体の「満足度」



分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり「満足度」(人口比補正後)



分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり 分野全体の「満足度」(人口比補正後)



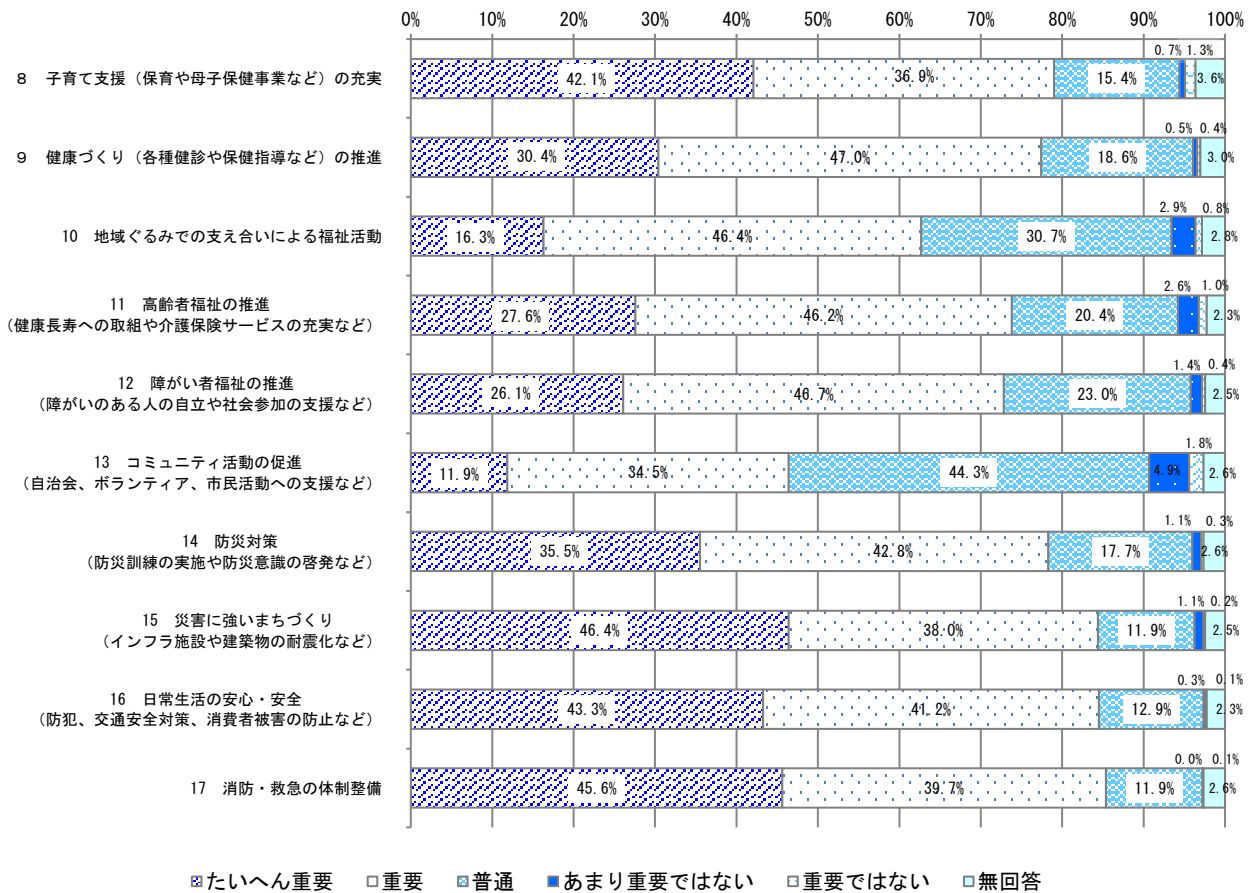
《分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり》

分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり「重要度」

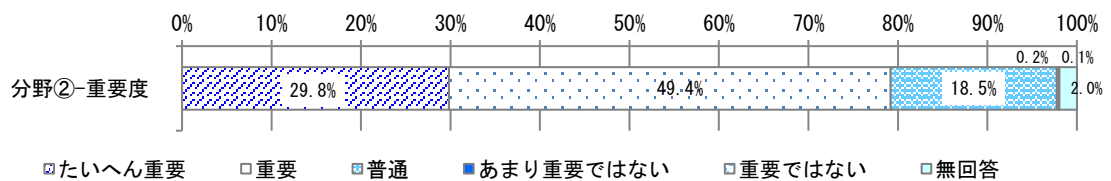
【全体の傾向】

「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『17 消防・救急の体制整備』が85.3%、『16 日常生活の安心・安全』が84.5%、『15 災害に強いまちづくり』が84.4%と高くなっている。

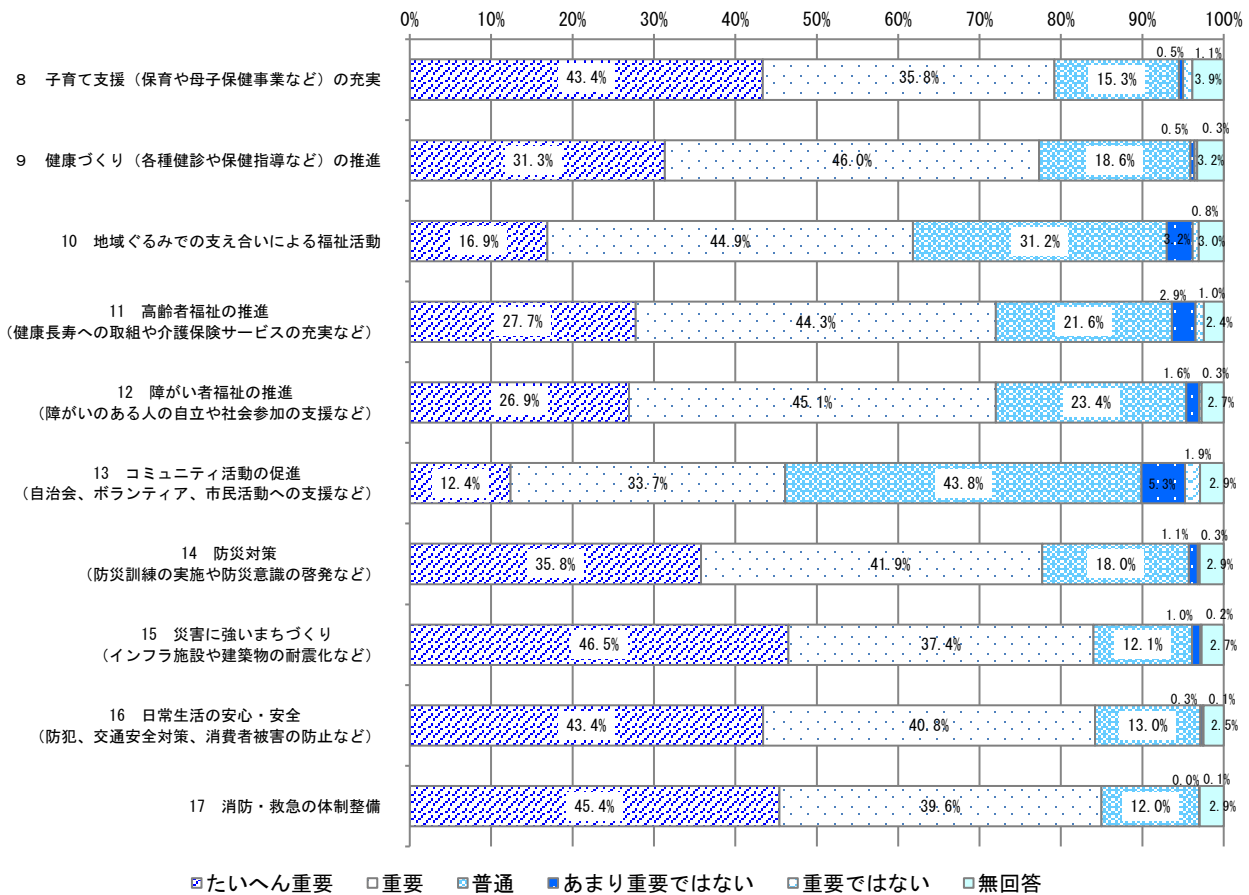
また、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた「重要ではない」の割合は、『13 コミュニティ活動の促進』が6.7%で最も高くなっている。



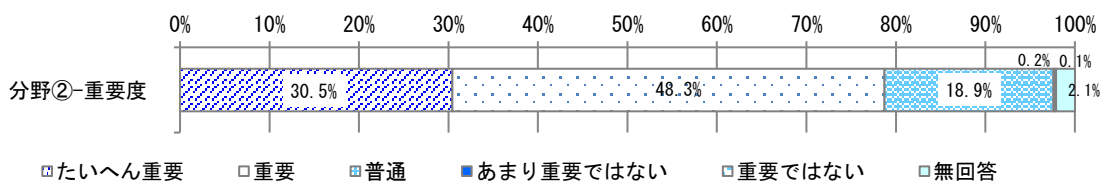
分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり 分野全体の「重要度」



分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり「重要度」(人口比補正後)



分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり分野全体の「重要度」(人口比補正後)



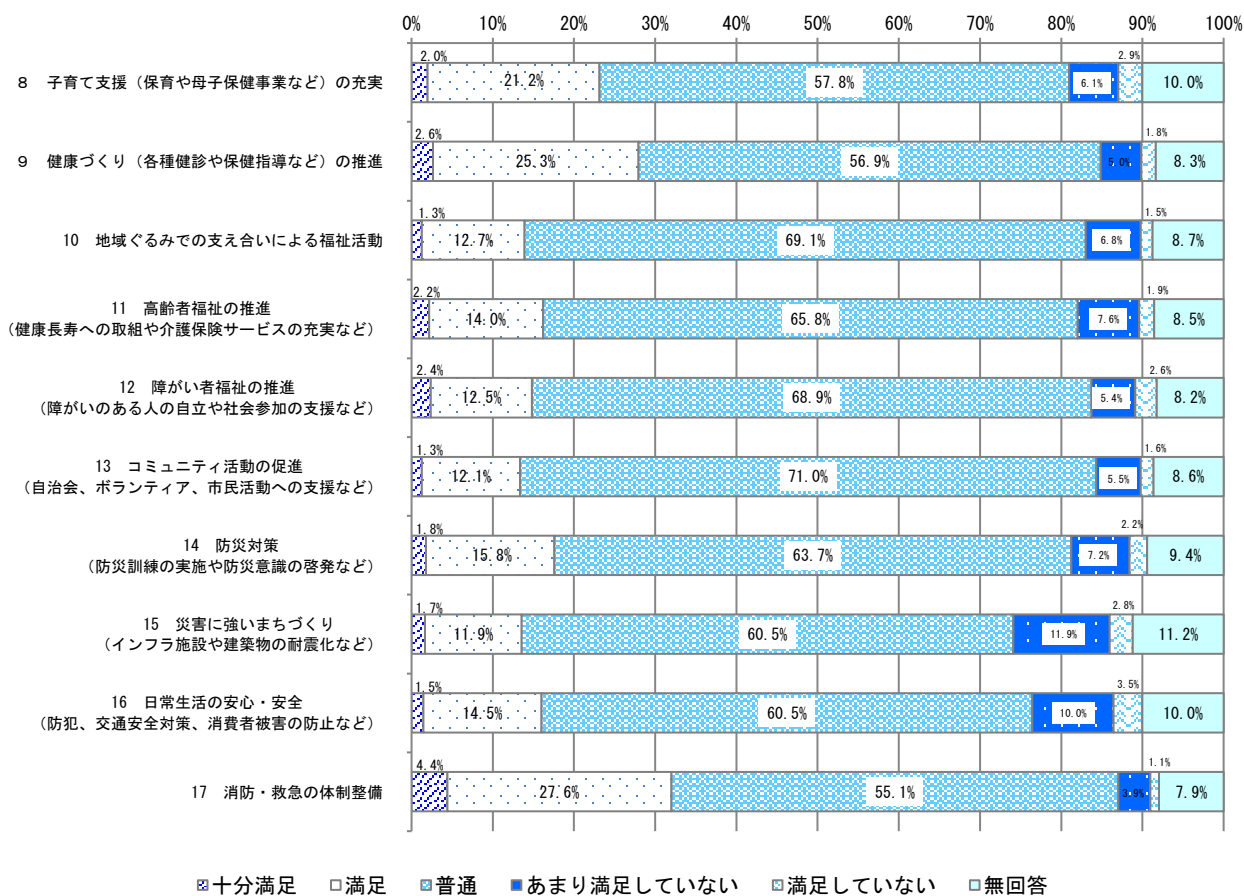
分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり「満足度」

【全体の傾向】

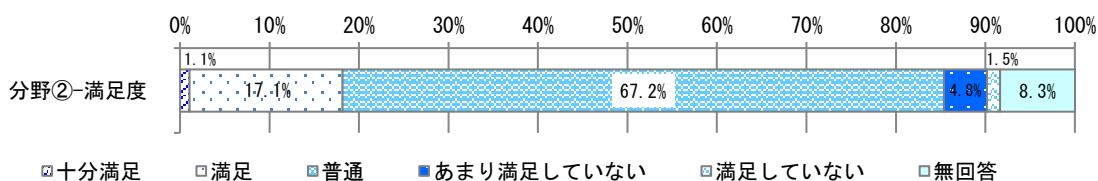
「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、『17 消防・救急の体制整備』が32.0%と最も高く、次いで『9 健康づくり（各種健診や保健指導など）の推進』が27.9%、『8 子育て支援（保育や母子保健事業など）の充実』が23.2%となっている。

一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合は、『15 災害に強いまちづくり』が14.7%、『16 日常生活の安心・安全』が13.5%となっている。

なお、「普通」の割合を見ると、この分野における全ての項目で5割を超えている。



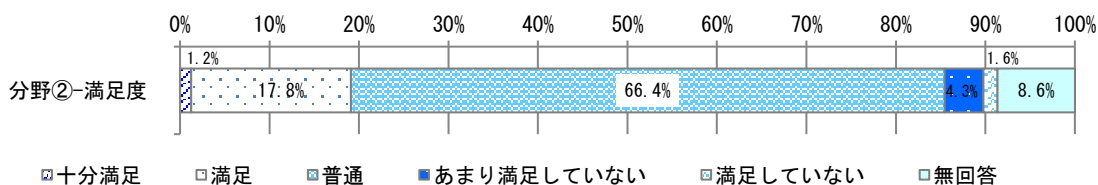
分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり 分野全体の「満足度」



分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり「満足度」(人口比補正後)



分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり 分野全体の「満足度」(人口比補正後)



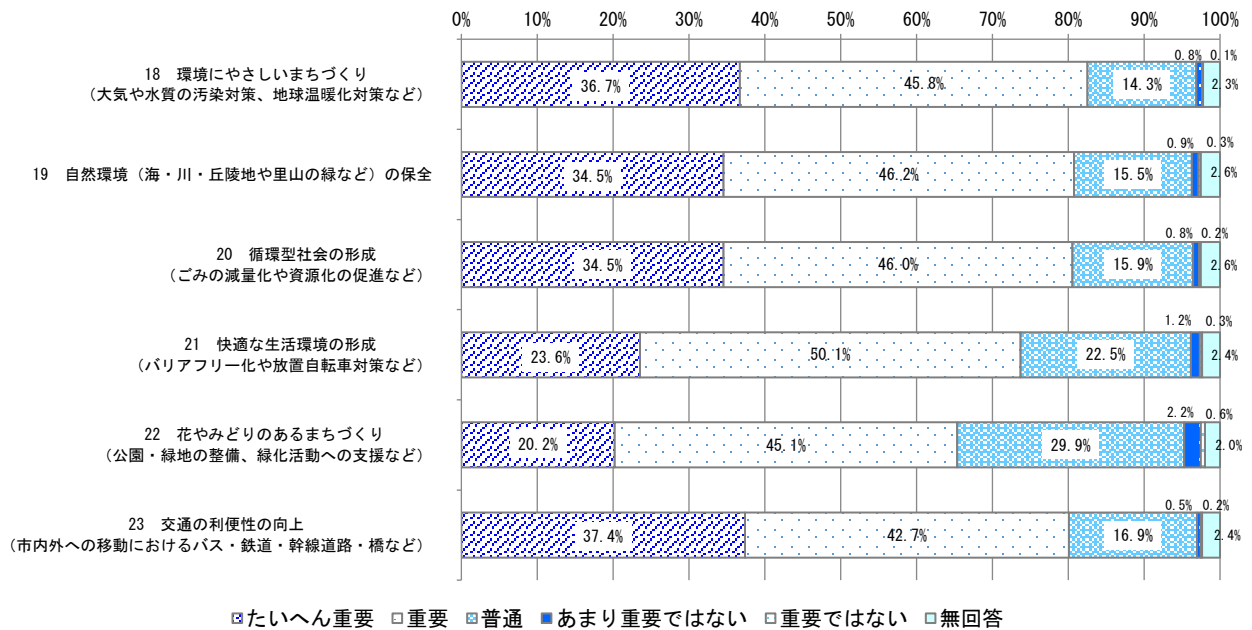
《分野③ 自然と人が共生するまちづくり》

分野③ 自然と人が共生するまちづくり「重要度」

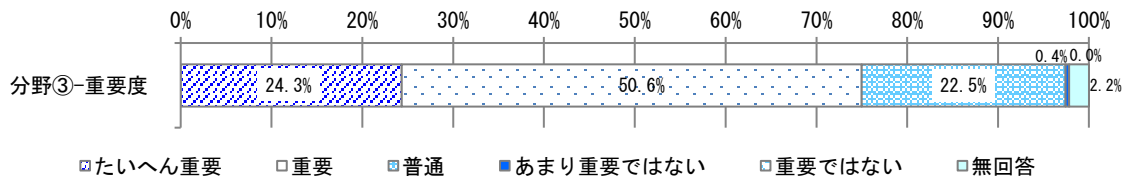
【全体の傾向】

「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『18 環境にやさしいまちづくり（大気や水質の汚染対策、地球温暖化対策など）』が 82.5%、『19 自然環境（海・川・丘陵地や里山の緑など）の保全』が 80.7%、『20 循環型社会の形成（ごみの減量化や資源化の促進など）』が 80.5%の順で高くなっている。

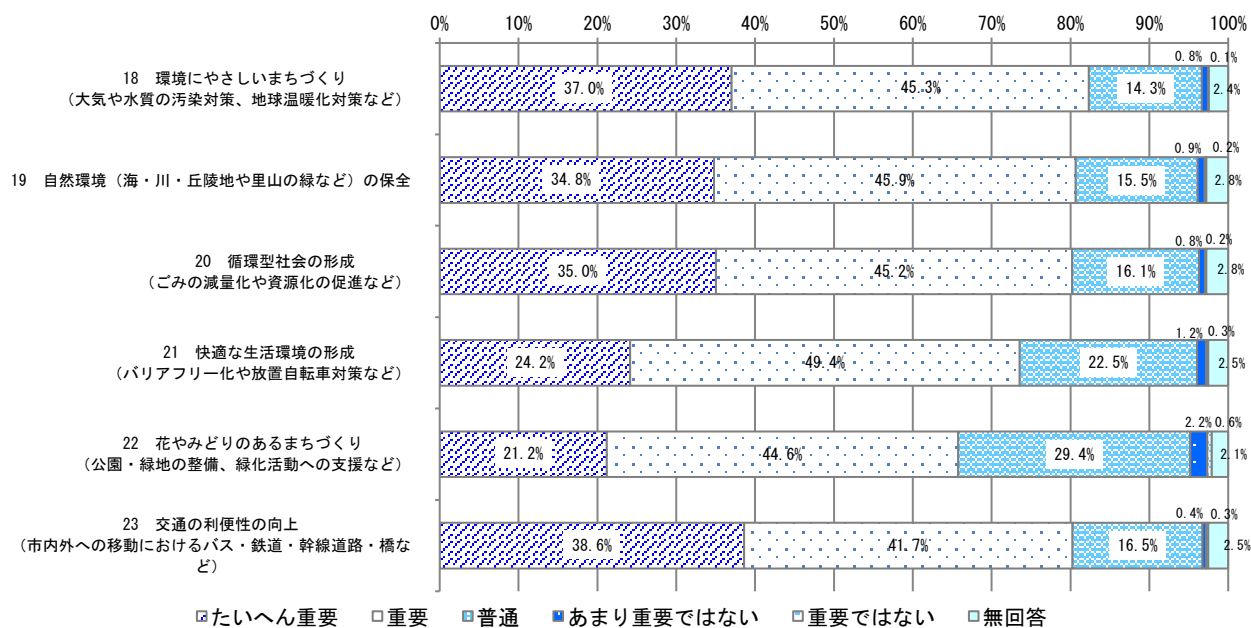
なお、「重要ではない」の割合を見ると、この分野における全ての項目で1%を下回っている。



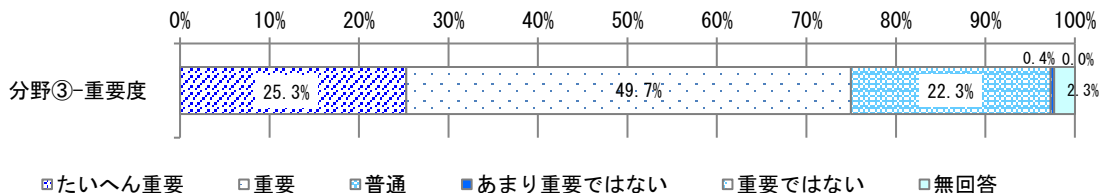
分野③ 自然と人が共生するまちづくり 分野全体の「重要度」



分野③ 自然と人が共生するまちづくり「重要度」(人口比補正後)



分野③ 自然と人が共生するまちづくり 分野全体の「重要度」(人口比補正後)

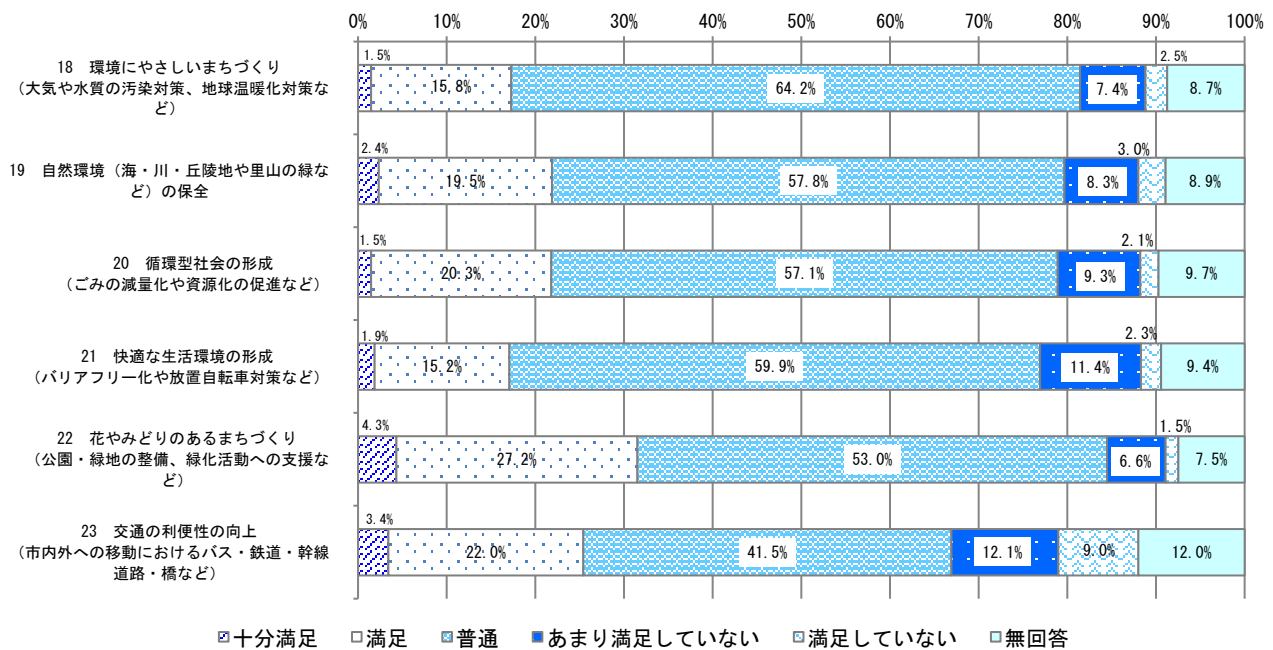


分野③ 自然と人が共生するまちづくり「満足度」

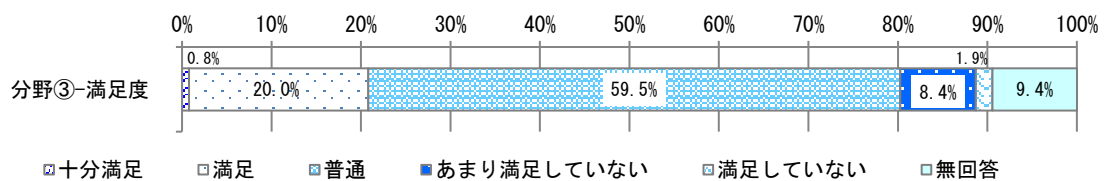
【全体の傾向】

「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、『22 花やみどりのあるまちづくり』が31.5%、『23 交通の利便性の向上』が25.4%の順で高くなっている。

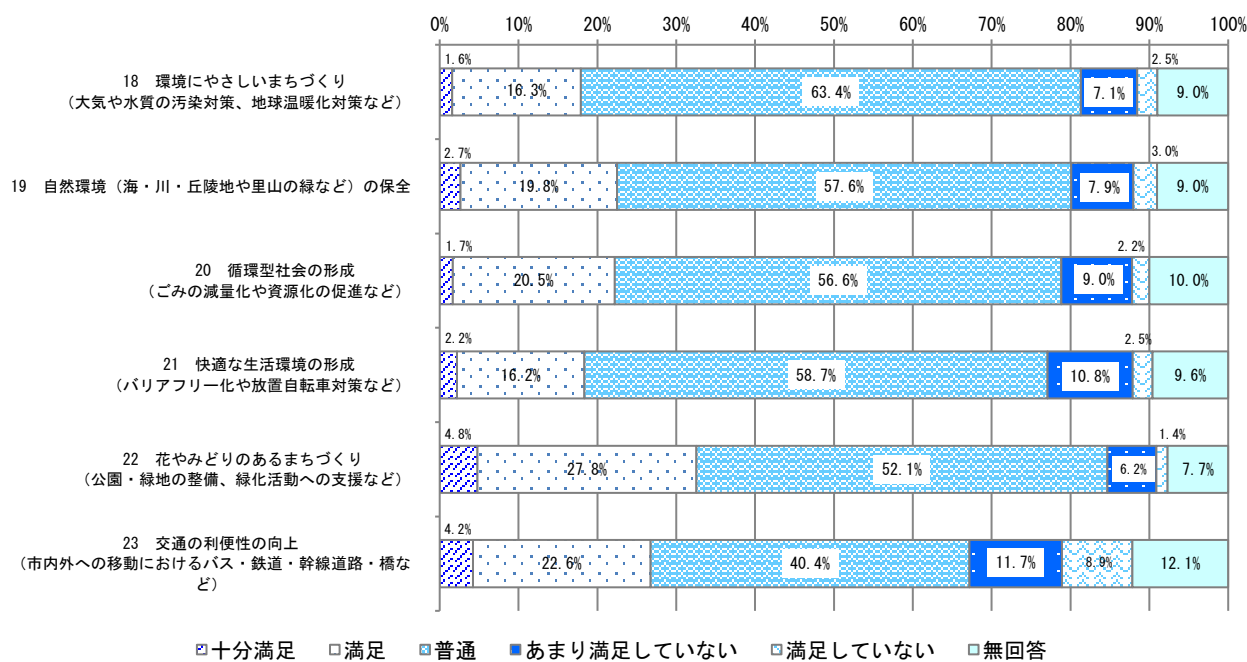
一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合は、『23 交通の利便性の向上』で21.1%、『21 快適な生活環境の形成』が13.7%、『20 循環型社会の形成』が11.4%、『19 自然環境（海・川・丘陵地や里山の緑など）の保全』が11.3%となっている。



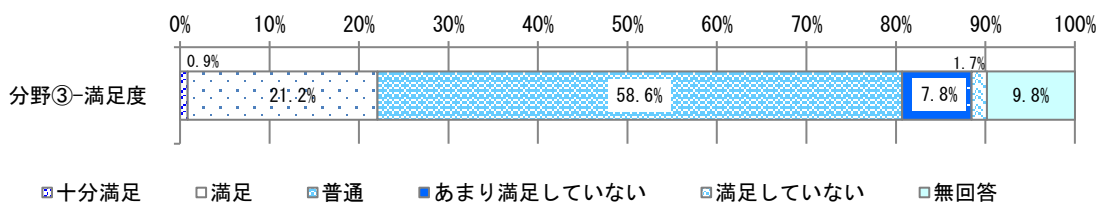
分野③ 自然と人が共生するまちづくり 分野全体の「満足度」



分野③ 自然と人が共生するまちづくり「満足度」(人口比補正後)



分野③ 自然と人が共生するまちづくり 分野全体の「満足度」(人口比補正後)



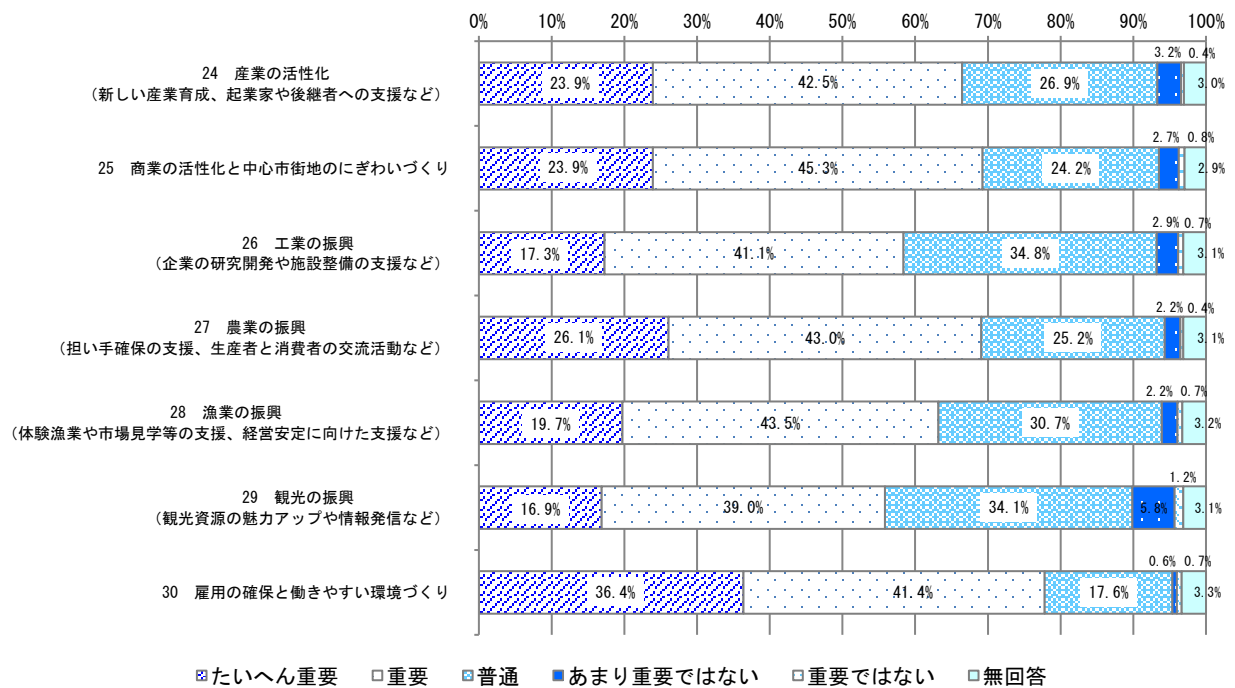
《分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり》

分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり「重要度」

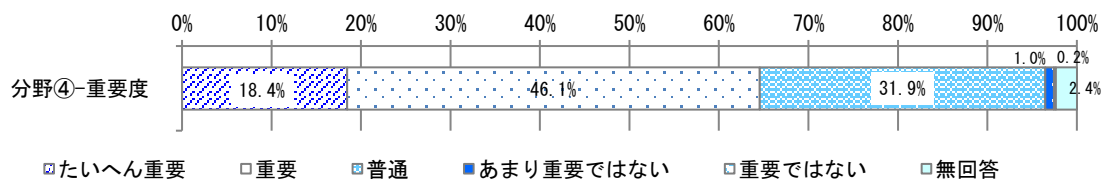
【全体の傾向】

「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『30 雇用の確保と働きやすい環境づくり』が77.8%で最も高く、次いで『25 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり』が69.2%、『27 農業の振興』が69.1%となっている。

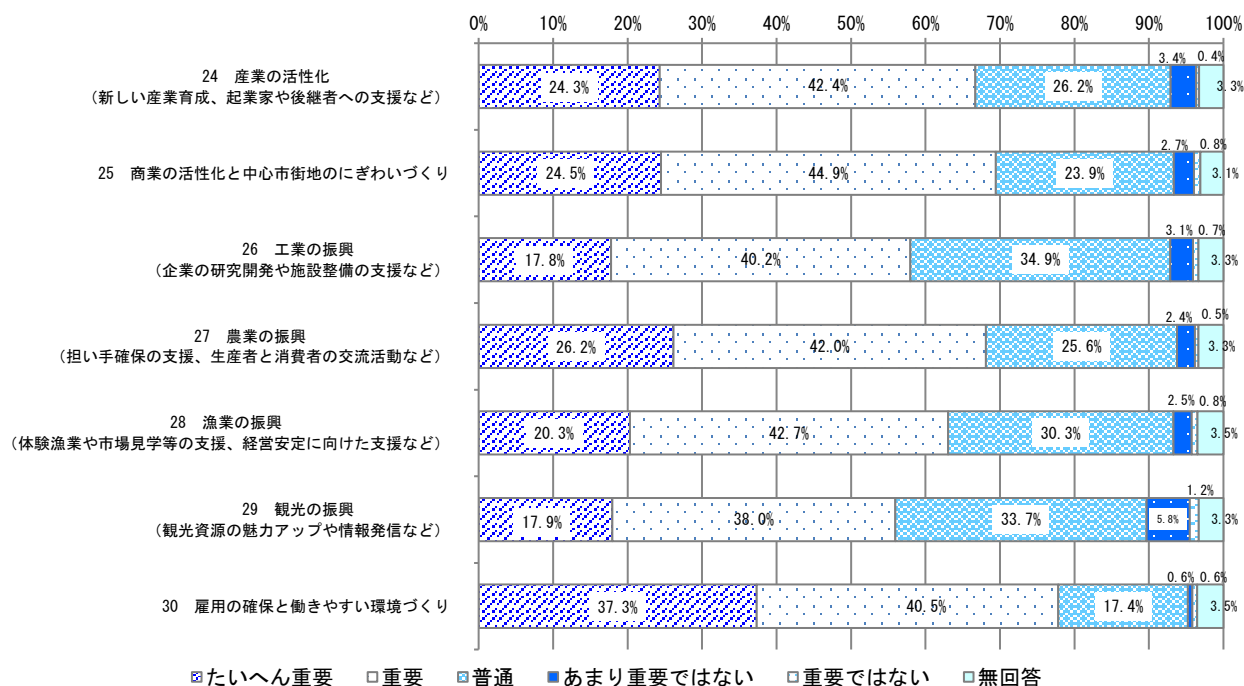
一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合は、『29 観光の振興』で7.0%となっている。



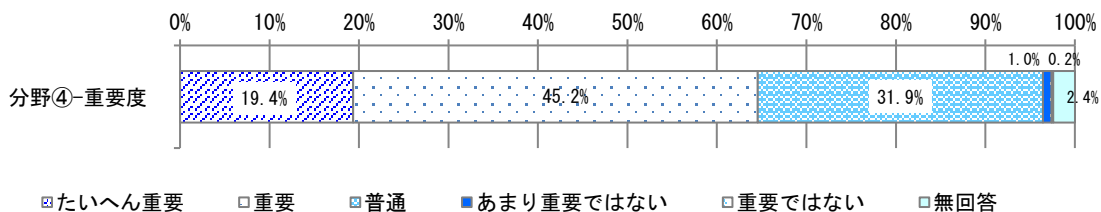
分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり 分野全体の「重要度」



分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり「重要度」(人口比補正後)



分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり 分野全体の「重要度」(人口比補正後)

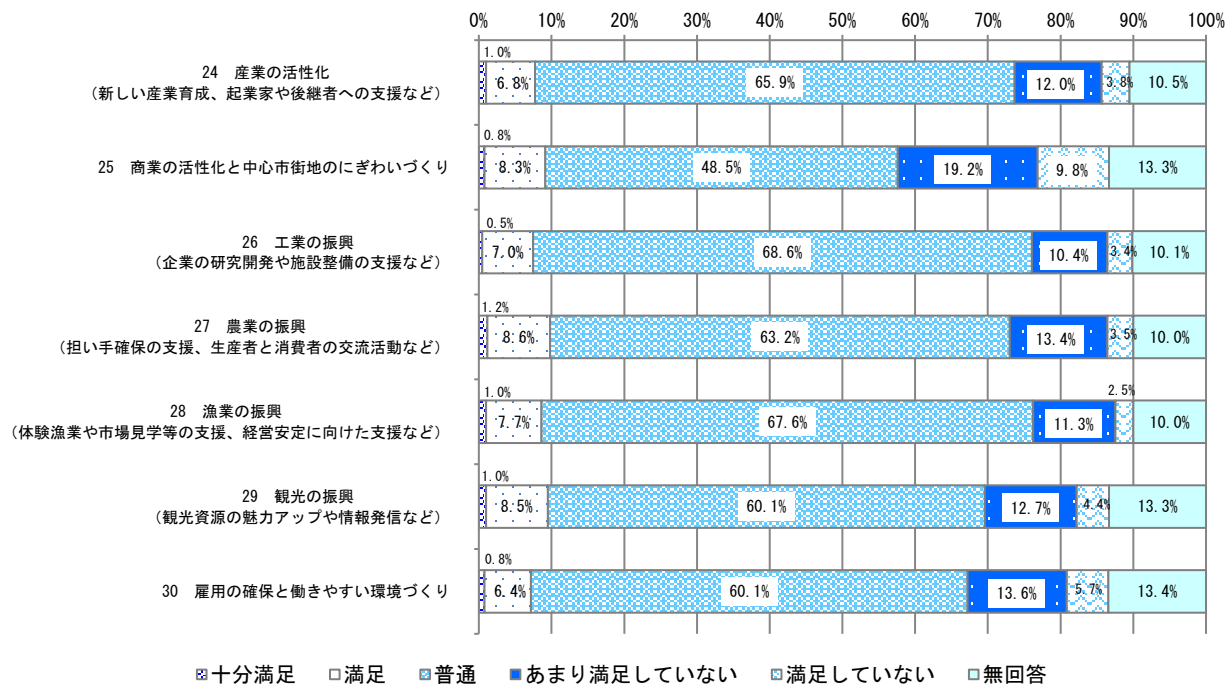


分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり「満足度」

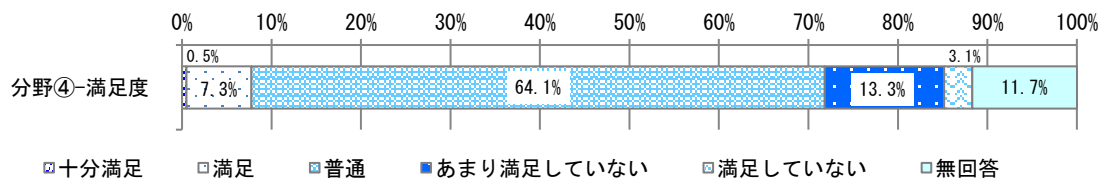
【全体の傾向】

この分野については全体的に満足度が低く、「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、『27 農業の振興』が9.8%と最も高く、『29 観光の振興』が9.5%、『25 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり』が9.1%となっている。

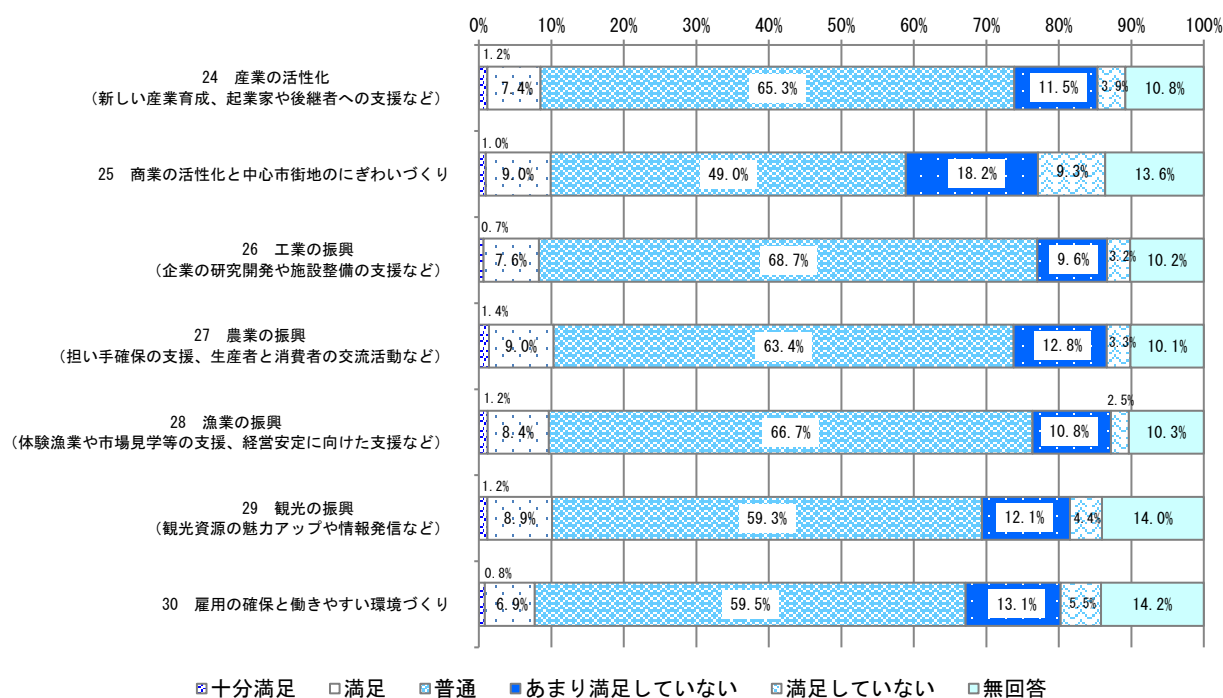
一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合では、『25 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり』が29.0%で最も高く、次いで『30 雇用の確保と働きやすい環境づくり』が19.3%となっている。



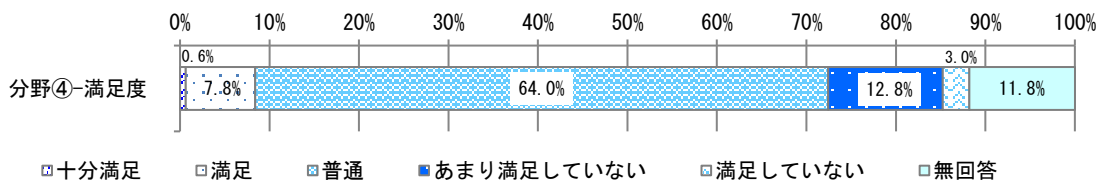
分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり 分野全体の「満足度」



分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり「満足度」(人口比補正後)



分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり 分野全体の「満足度」(人口比補正後)



【重要度と満足度の相関】

【3】のまちづくりの状況について、項目間の比較をするため、次の式で各項目の評価点を算出し、散布図を作成した。

指数計算式	
$\begin{aligned} & (\text{「十分満足 (たいへん重要)」} \times 2 \text{点}) + (\text{「満足 (重要)」} \times 1 \text{点}) + (\text{「普通」} \times 0 \text{点}) \\ & + (\text{「あまり満足していない (あまり重要ではない)」} \times -1 \text{点}) + (\text{「満足していない (重要ではない)」} \times -2 \text{点}) \end{aligned}$	
評価点＝	$\frac{\text{回答数} - \text{無回答数}}{\text{回答数}}$
<p>上記の計算式で算出した評価点を、横軸に「重要度」、縦軸に「満足度」としてグラフ化した。(図1) 散布図内の番号は各項目の番号を表している。</p>	

分野	項目	評価点	
		重要度	満足度
① (■)	1 子どもの学びの充実（学力の向上、豊かな心の育成など）	1.22	0.06
	2 教育環境の充実（学校施設の安全対策、相談体制など）	1.19	0.03
	3 生涯学習や芸術・文化活動を行う環境の充実	0.67	0.07
	4 スポーツを楽しむ（する・観る）環境の充実	0.69	0.27
	5 青少年が健全に成長する環境	1.13	0.01
	6 友好・姉妹都市、企業及び大学等との交流の促進	0.34	0.00
	7 男女共同参画や人権擁護など、自由で平等な地域社会の推進	0.81	-0.02
② (◆)	8 子育て支援（保育や母子保健事業など）の充実	1.22	0.15
	9 健康づくり（各種健診や保健指導など）の推進	1.10	0.24
	10 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動	0.77	0.06
	11 高齢者福祉の推進（健康長寿への取組や介護保険サービスの充実など）	0.99	0.08
	12 障がい者福祉の推進（障がいのある人の自立や社会参加の支援など）	0.99	0.07
	13 コミュニティ活動の促進（自治会、ボランティア、市民活動への支援など）	0.51	0.07
	14 防災対策（防災訓練の実施や防災意識の啓発など）	1.15	0.09
	15 災害に強いまちづくり（インフラ施設や建築物の耐震化など）	1.33	-0.03
	16 日常生活の安心・安全（防犯、交通安全対策、消費者被害の防止など）	1.30	0.00
	17 消防・救急の体制整備	1.34	0.33
③ (▲)	18 環境にやさしいまちづくり（大気や水質の汚染対策、地球温暖化対策など）	1.21	0.07
	19 自然環境（海・川・丘陵地や里山の緑など）の保全	1.17	0.11
	20 循環型社会の形成（ごみの減量化や資源化の促進など）	1.17	0.11
	21 快適な生活環境の形成（バリアフリー化や放置自転車対策など）	0.98	0.03
	22 花やみどりのあるまちづくり（公園・緑地の整備、緑化活動への支援など）	0.84	0.28
	23 交通の利便性の向上（市内外への移動におけるバス・鉄道・幹線道路・橋など）	1.19	-0.01
④ (●)	24 産業の活性化（新しい産業育成、起業家や後継者への支援など）	0.89	-0.12
	25 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり	0.92	-0.33
	26 工業の振興（企業の研究開発や施設整備の支援など）	0.74	-0.10
	27 農業の振興（担い手確保の支援、生産者と消費者の交流活動など）	0.95	-0.11
	28 漁業の振興（体験漁業や市場見学等の支援、経営安定に向けた支援など）	0.82	-0.07
	29 観光の振興（観光資源の魅力アップや情報発信など）	0.67	-0.13
	30 雇用の確保と働きやすい環境づくり	1.16	-0.20

【全体の傾向】

【3】まちづくりの状況における全30項目を比較した結果、重要度が高く、満足度も高いものは『17 消防・救急の体制整備』や『9 健康づくり（各種健診や保健指導など）の推進』など11項目となった。

重要度は高いが、満足度が低い項目は『30 雇用の確保と働きやすい環境づくり』など5項目あった。

また、重要度は低いが、満足度が高い項目は『4 スポーツを楽しむ（する・観る）環境の充実』や『22 花やみどりのあるまちづくり』など5項目となった。

さらに、重要度が低く、満足度も低い項目は『29 観光の振興』や『26 工業の振興』など8項目だった。

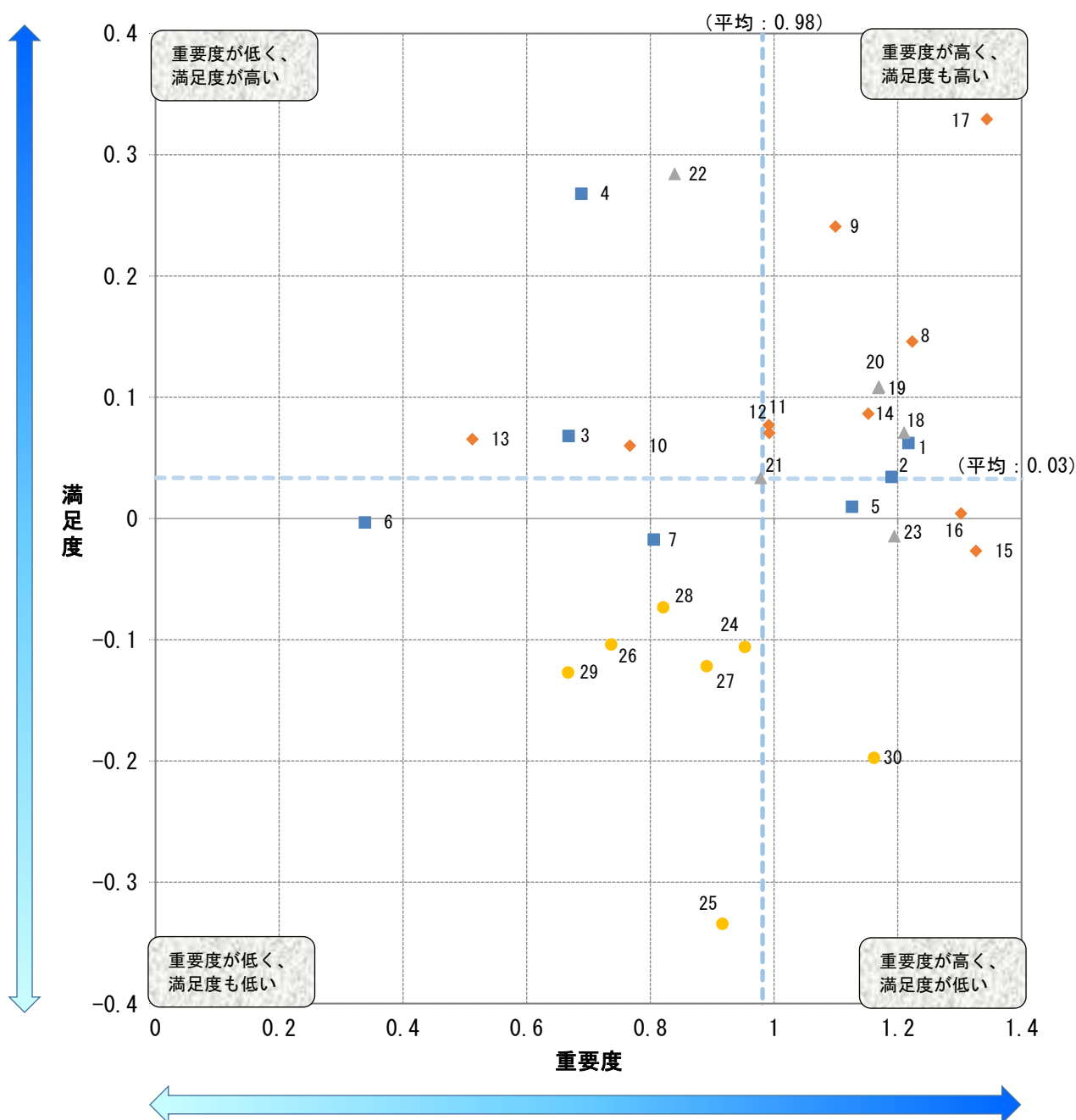


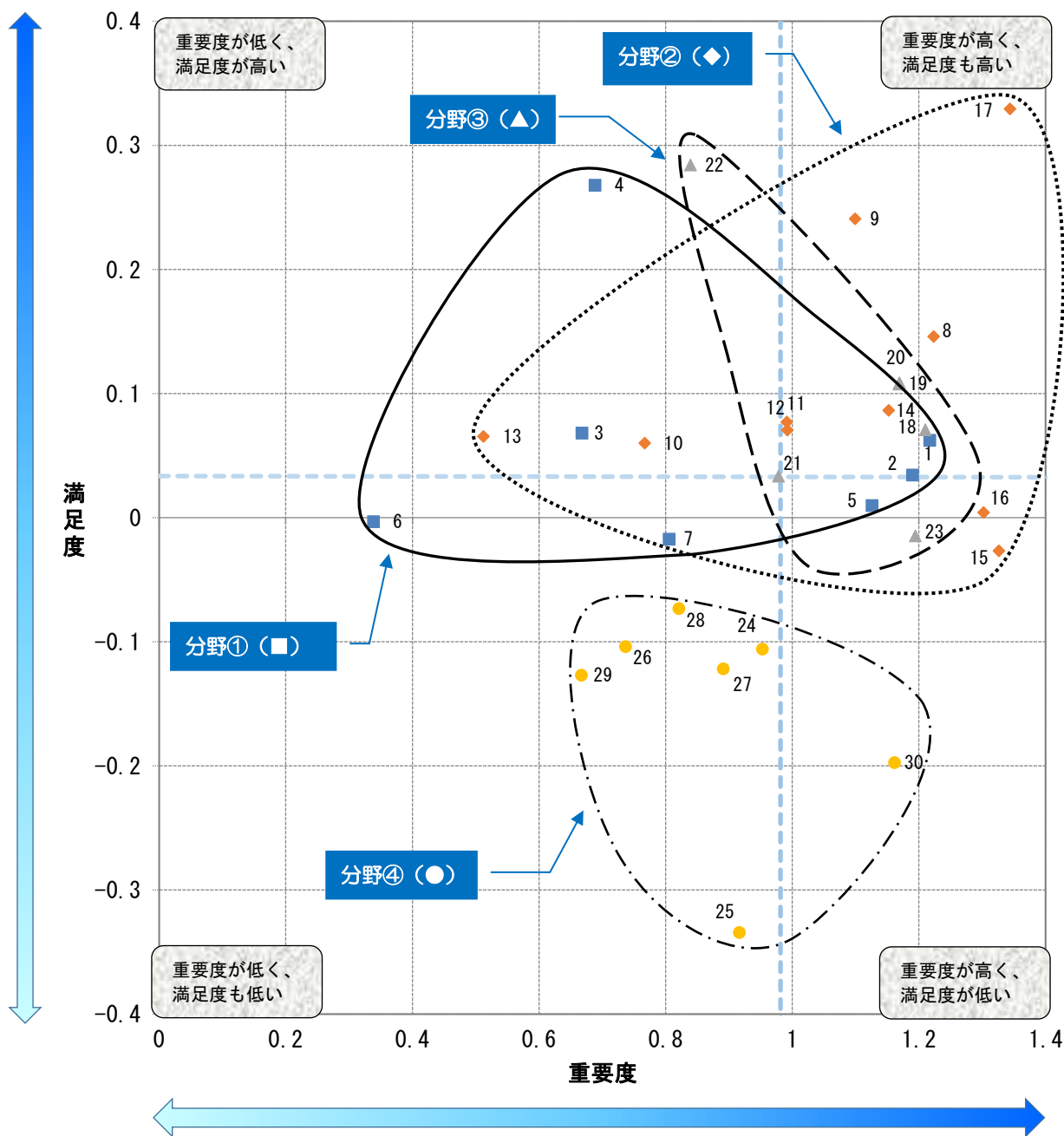
図1 重要度と満足度の相関関係

【分野ごとの傾向】

下図は、前ページに掲載した散布図を、分野ごとにグループ化したものである。

この図を見ると、「分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり」(●)は他の分野に比べ満足度が低くなっている。

また、「分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり」(■)や「分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり」(◆)については、重要度と満足度ともに項目によって大きく異なる結果となった。



【人口補正による重要度と満足度の順位の変化】

【4】のまちづくりの状況について、重要度と満足度の順位を平塚市の人口比による補正前と補正後と比較した。なお、順位付けは相関を比較するために算出した評価点を用いている。

◆人口補正による重要度の変化

項目	順位		補正前 -補正後
	人口 補正前	人口 補正後	
17 消防・救急の体制整備	1	1	0
15 災害に強いまちづくり（インフラ施設や建築物の耐震化など）	2	2	0
16 日常生活の安心・安全（防犯、交通安全対策、消費者被害の防止など）	3	3	0
8 子育て支援（保育や母子保健事業など）の充実	4	4	0
1 子どもの学びの充実（学力の向上、豊かな心の育成など）	5	5	0
18 環境にやさしいまちづくり（大気や水質の汚染対策、地球温暖化対策など）	6	6	0
23 交通の利便性の向上（市内外への移動におけるバス・鉄道・幹線道路・橋など）	7	8	-1
2 教育環境の充実（学校施設の安全対策、相談体制など）	8	7	1
20 循環型社会の形成（ごみの減量化や資源化の促進など）	9	10	-1
19 自然環境（海・川・丘陵地や里山の緑など）の保全	10	11	-1
30 雇用の確保と働きやすい環境づくり	11	9	2
14 防災対策（防災訓練の実施や防災意識の啓発など）	12	12	0
5 青少年が健全に成長する環境	13	13	0
9 健康づくり（各種健診や保健指導など）の推進	14	14	0
12 障がい者福祉の推進（障がいのある人の自立や社会参加の支援など）	15	15	0
11 高齢者福祉の推進（健康長寿への取組や介護保険サービスの充実など）	16	17	-1
21 快適な生活環境の形成（バリアフリー化や放置自転車対策など）	17	16	1
27 農業の振興（担い手確保の支援、生産者と消費者の交流活動など）	18	18	0
25 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり	19	19	0
24 産業の活性化（新しい産業育成、起業家や後継者への支援など）	20	20	0
22 花やみどりのあるまちづくり（公園・緑地の整備、緑化活動への支援など）	21	21	0
28 漁業の振興（体験漁業や市場見学等の支援、経営安定に向けた支援など）	22	23	-1
7 男女共同参画や人権擁護など、自由で平等な地域社会の推進	23	22	1
10 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動	24	24	0
26 工業の振興（企業の研究開発や施設整備の支援など）	25	25	0
4 スポーツを楽しむ（する・観る）環境の充実	26	26	0
3 生涯学習や芸術・文化活動を行う環境の充実	27	28	-1
29 観光の振興（観光資源の魅力アップや情報発信など）	28	27	1
13 コミュニティ活動の促進（自治会、ボランティア、市民活動への支援など）	29	29	0
6 友好・姉妹都市、企業及び大学等との交流の促進	30	30	0

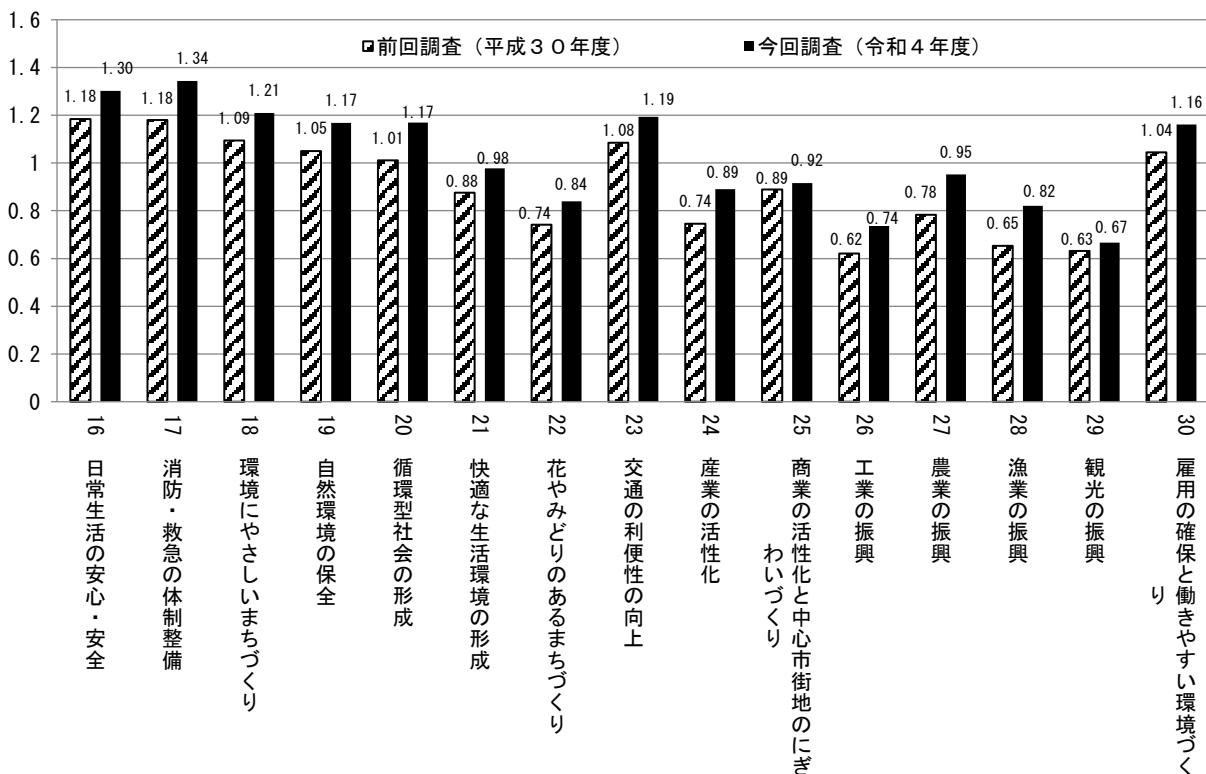
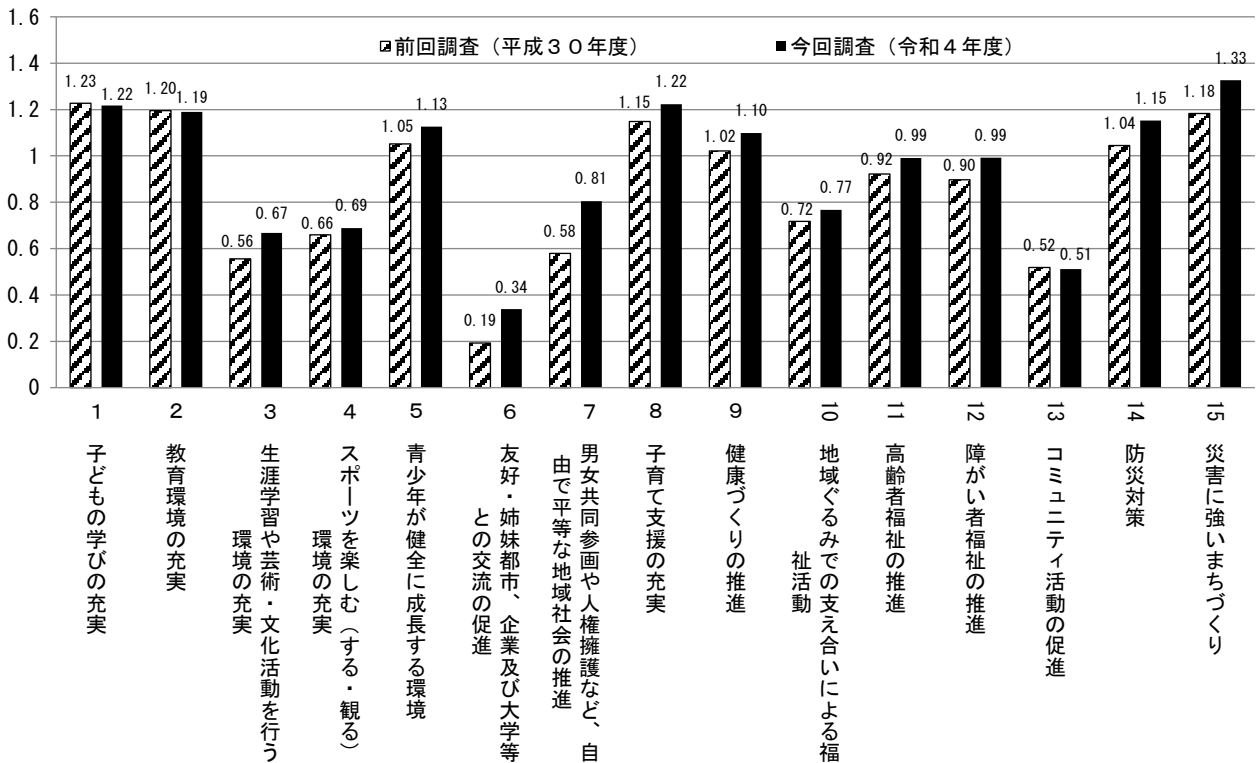
◆人口比補正による満足度の変化

項目	順位		補正前 -補正後
	人口 補正前	人口 補正後	
17 消防・救急の体制整備	1	1	0
22 花やみどりのあるまちづくり（公園・緑地の整備、緑化活動への支援など）	2	2	0
4 スポーツを楽しむ（する・観る）環境の充実	3	3	0
9 健康づくり（各種健診や保健指導など）の推進	4	4	0
8 子育て支援（保育や母子保健事業など）の充実	5	5	0
20 循環型社会の形成（ごみの減量化や資源化の促進など）	6	7	-1
19 自然環境（海・川・丘陵地や里山の緑など）の保全	7	6	1
14 防災対策（防災訓練の実施や防災意識の啓発など）	8	8	0
11 高齢者福祉の推進（健康長寿への取組や介護保険サービスの充実など）	9	9	0
18 環境にやさしいまちづくり（大気や水質の汚染対策、地球温暖化対策など）	10	14	-4
12 障がい者福祉の推進（障がいのある人の自立や社会参加の支援など）	11	10	1
3 生涯学習や芸術・文化活動を行う環境の充実	12	11	1
13 コミュニティ活動の促進（自治会、ボランティア、市民活動への支援など）	13	12	1
1 子どもの学びの充実（学力の向上、豊かな心の育成など）	14	13	1
10 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動	15	15	0
2 教育環境の充実（学校施設の安全対策、相談体制など）	16	17	-1
21 快適な生活環境の形成（バリアフリー化や放置自転車対策など）	17	16	1
5 青少年が健全に成長する環境	18	18	0
16 日常生活の安心・安全（防犯、交通安全対策、消費者被害の防止など）	19	19	0
6 友好・姉妹都市、企業及び大学等との交流の促進	20	21	-1
23 交通の利便性の向上（市内外への移動におけるバス・鉄道・幹線道路・橋など）	21	20	1
7 男女共同参画や人権擁護など、自由で平等な地域社会の推進	22	22	0
15 災害に強いまちづくり（インフラ施設や建築物の耐震化など）	23	23	0
28 漁業の振興（体験漁業や市場見学等の支援、経営安定に向けた支援など）	24	24	0
26 工業の振興（企業の研究開発や施設整備の支援など）	25	25	0
27 農業の振興（担い手確保の支援、生産者と消費者の交流活動など）	26	26	0
24 産業の活性化（新しい産業育成、起業家や後継者への支援など）	27	27	0
29 観光の振興（観光資源の魅力アップや情報発信など）	28	28	0
30 雇用の確保と働きやすい環境づくり	29	29	0
25 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり	30	30	0

【重要度と満足度の前回調査との比較】

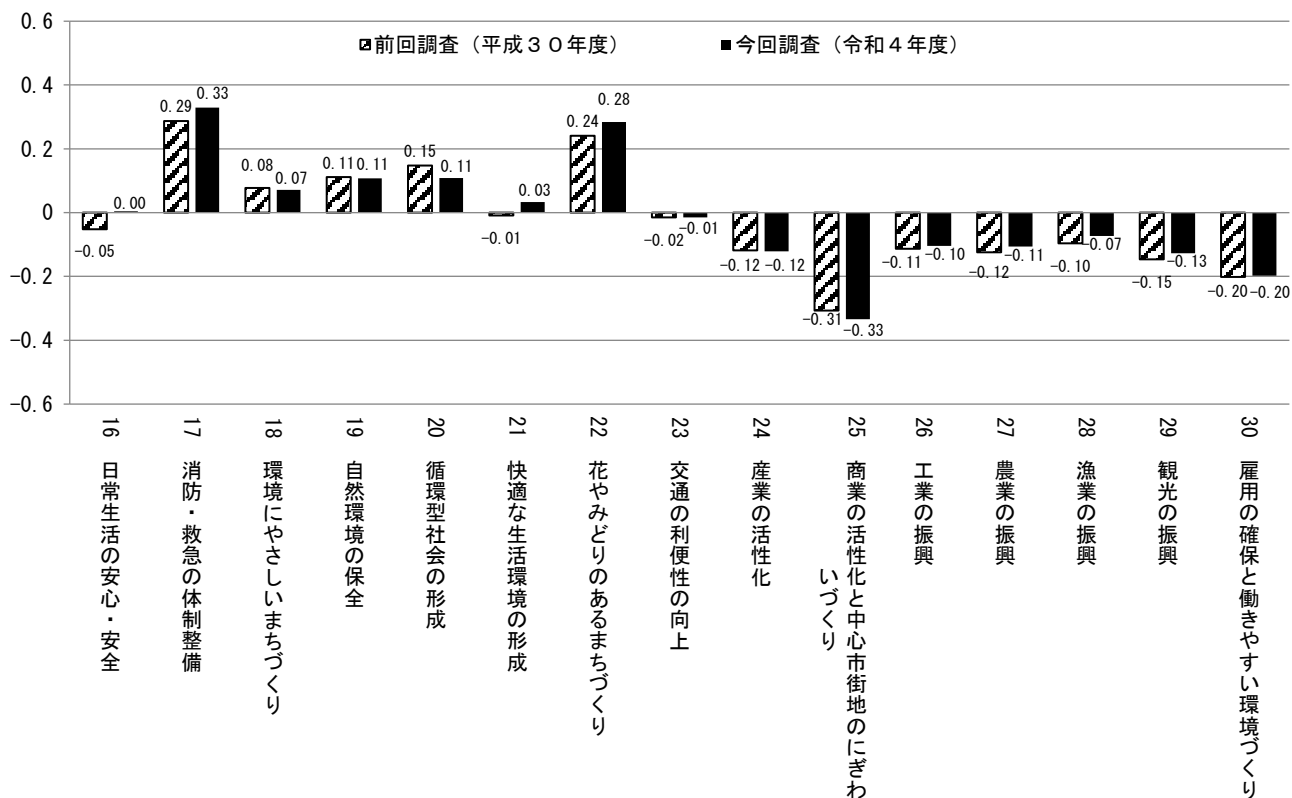
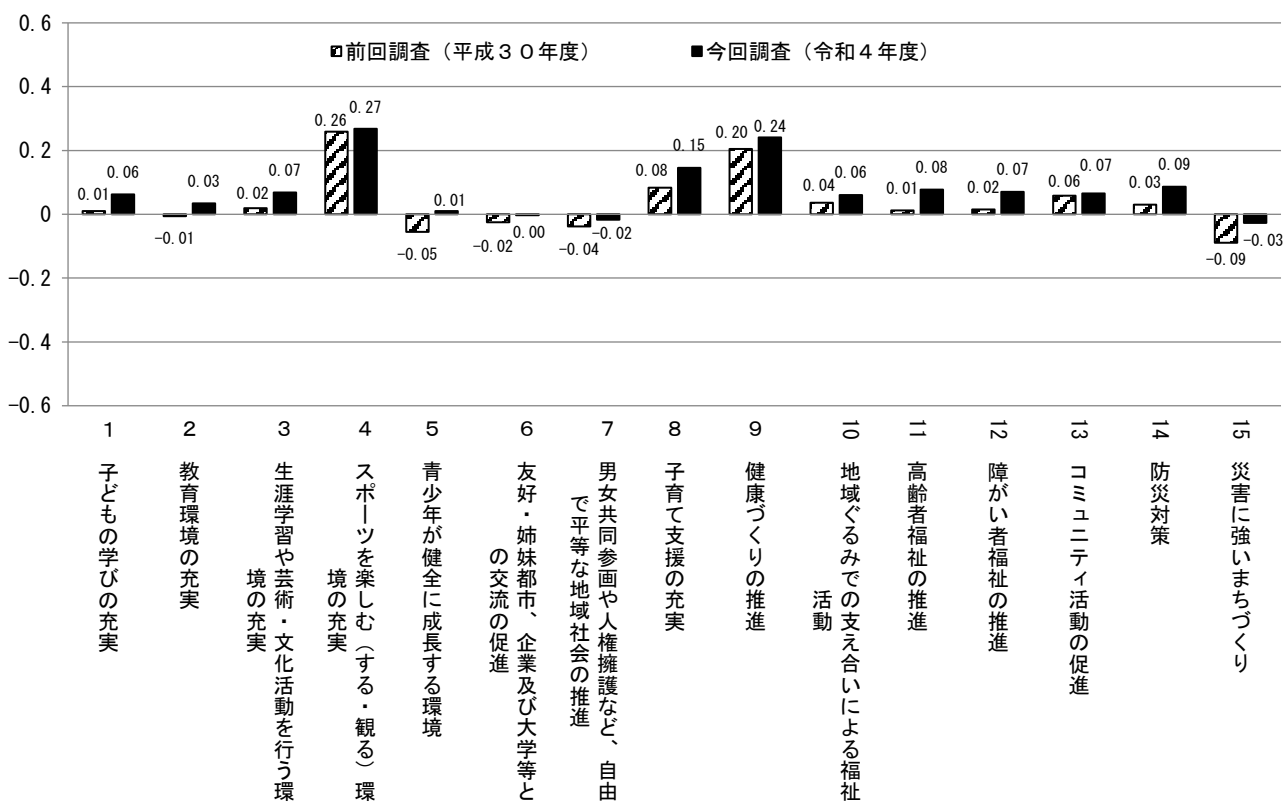
【重要度の傾向】

前回調査から最も重要度が高くなった項目は、『7 男女共同参画や人権擁護など、自由で平等な地域社会の推進』で0.23ポイント、『27 農業の振興』『28 漁業の振興』が0.17ポイント上昇した。一方、重要度の低下は、『1 子どもの学びの充実』『2 教育環境の充実』『13 コミュニティ活動の促進』の3項目で0.01ポイント減少した。



【満足度の傾向】

前回調査から最も満足度が高くなった項目は、『8 子育て支援の充実』、『11 高齢者福祉の推進』で0.07ポイント上昇した。次いで、『14 防災対策』、『15 災害に強いまちづくり』が0.06ポイント上昇した。また、全30項目中24項目で前回調査より満足度が高くなっている。



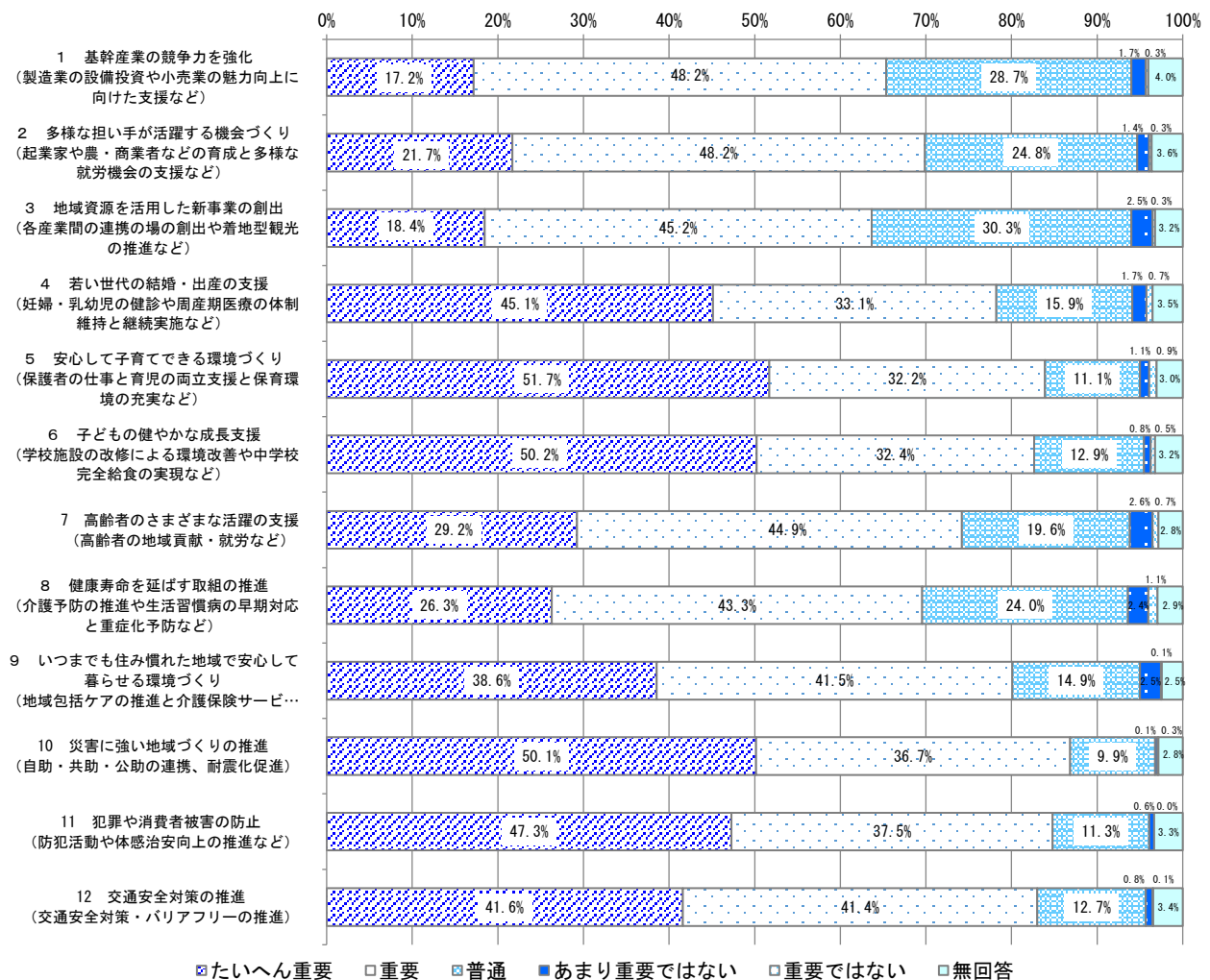
(問10) 平塚市は、問9のまちづくりに対して重要な課題を踏まえ、1～12の項目に再編し、重点施策として取り組んでいます。それぞれの項目に対するあなたの「重要度」について、お答えください。

重点施策 I～IV 「重要度」

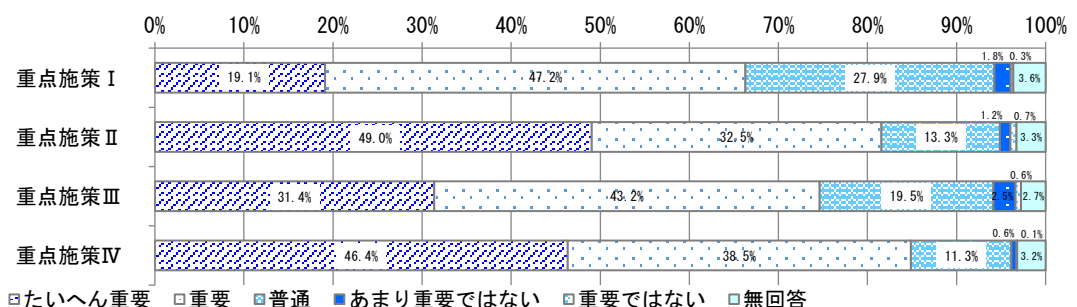
【全体の傾向】

「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『10 災害に強い地域づくりの推進』が86.8%、『11 犯罪や消費者被害の防止』が84.8%、『5 安心して子育てできる環境づくり』が83.9%、『6 子どもの健やかな成長支援』が82.6%と高くなっている。

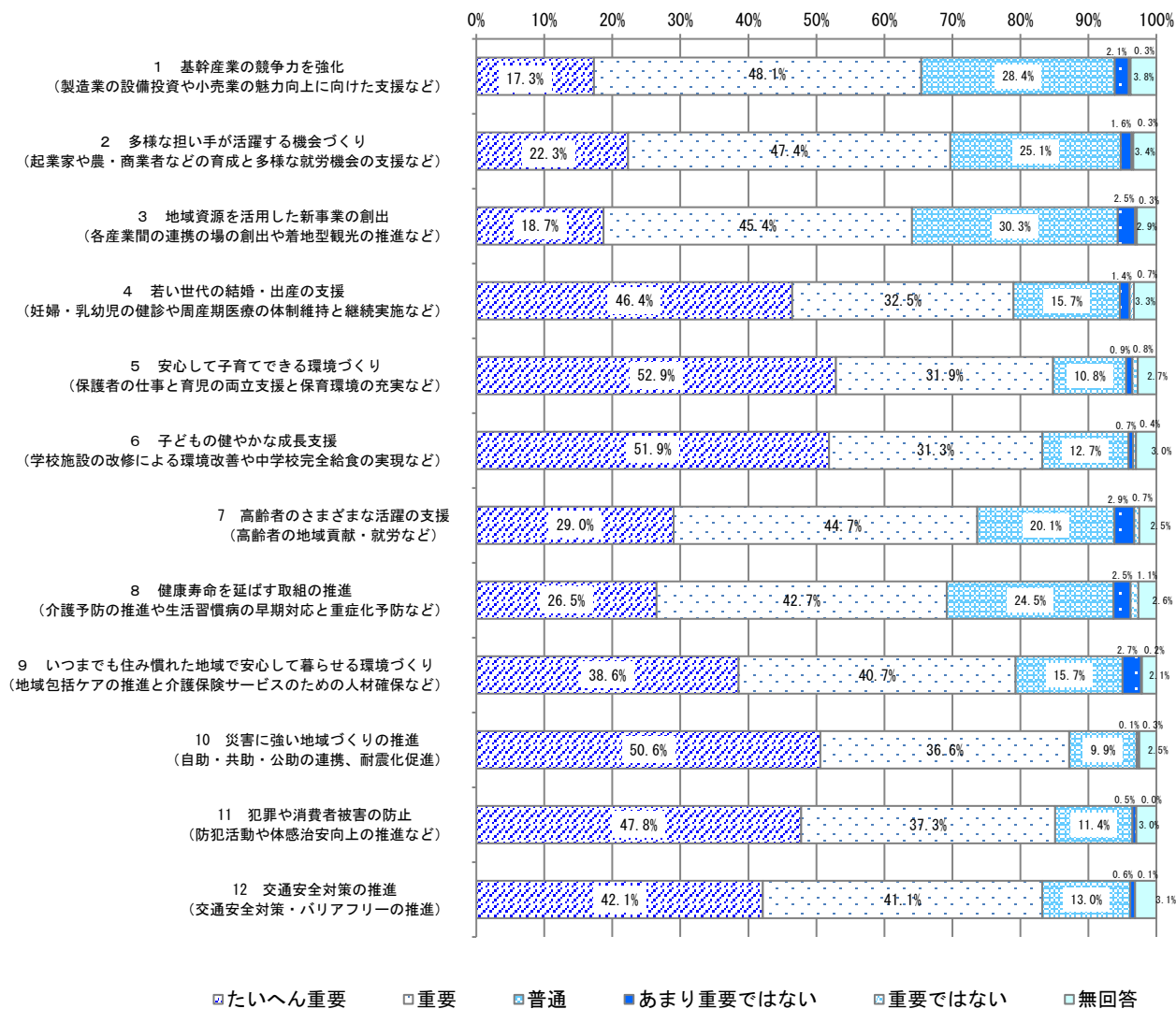
一方、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた「重要ではない」の割合は、全項目で5%以下となっており、最も高い『8 健康寿命を延ばす取組の推進』でも3.5%となっている。



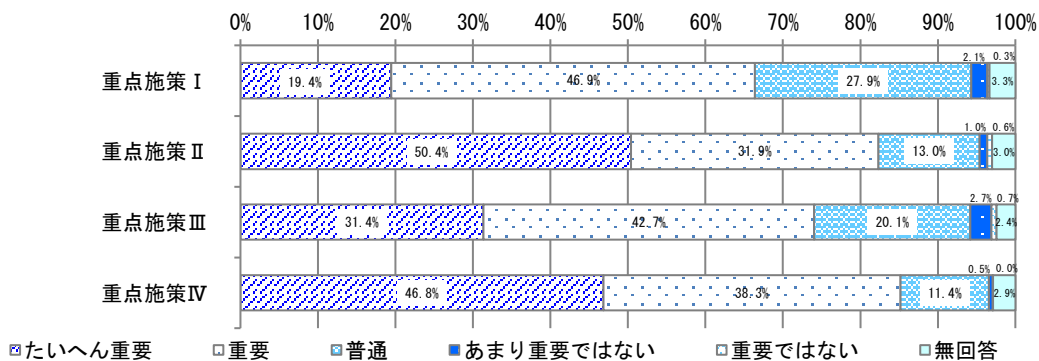
重点施策 I～IV 柱ごとの「重要度」



重点施策 I ~ IV (人口比補正後)



重点施策 I ~ IV 柱ごとの「重要度」 (人口比補正後)



◆人口比補正による重要度の変化

項目	順位		補正前 -補正後
	人口 補正前	人口 補正後	
10 災害に強い地域づくりの推進 (自助・共助・公助の連携、耐震化促進)	1	1	0
5 安心して子育てできる環境づくり (保護者の仕事と育児の両立支援と保育環境の充実など)	2	2	0
11 犯罪や消費者被害の防止 (防犯活動や体感治安向上の推進など)	3	4	-1
6 子どもの健やかな成長支援 (学校施設の改修による環境改善や中学校完全給食の実現など)	4	3	1
12 交通安全対策の推進 (交通安全対策・バリアフリーの推進)	5	5	0
4 若い世代の結婚・出産の支援 (妊婦・乳幼児の健診や周産期医療の体制維持と継続実施など)	6	6	0
9 いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり (地域包括ケアの推進と介護保険サービスのための人材確保など)	7	7	0
7 高齢者のさまざまな活躍の支援 (高齢者の地域貢献・就労など)	8	8	0
8 健康寿命を延ばす取組の推進 (介護予防の推進や生活習慣病の早期対応と重症化予防など)	9	9	0
2 多様な担い手が活躍する機会づくり (起業家や農・商業者などの育成と多様な就労機会の支援など)	10	10	0
1 基幹産業の競争力を強化 (製造業の設備投資や小売業の魅力向上に向けた支援など)	11	11	0
3 地域資源を活用した新事業の創出 (各産業間の連携の場の創出や着地型観光の推進など)	12	12	0

<主な意見>

【重点施策Ⅰ】

- ・駅前商店街を活性化する。(集客スポットの設置や誘致)
- ・地域型スタートアップ、ベンチャー支援による新たな事業を創出する。
- ・企業の誘致を促進すれば雇用が増加する。
- ・七夕まつりが再び開催され観光面でも、地域活性化の面でも効果を発揮することを期待する。
- ・コロナ禍における商業の衰退から早期に活気のある街へ戻ってほしい。

【重点施策Ⅱ】

- ・出産、子育てに関する経済的な支援。子どもが多い家庭にはより手厚く支援する。
- ・中学校給食を実現する。
- ・子どもの教育を充実させる。幼稚園・小学校・中学校の連携を強化する。
- ・貧困の解消、教育を受ける権利の保護。

【重点施策Ⅲ】

- ・介護職員の人材確保と待遇を改善する。
- ・まだ働けるシルバー世代の力を活かす。定年後の就労機会を増やす。
- ・高齢者でも活躍でき、何かを担い、いきいきと活動できるようにする。
- ・健康寿命を延ばす取組。
- ・高齢社会に向け、地域に密着した生活環境の整備と認知症者のケアシステムを推進する。

【重点施策Ⅳ】

- ・地震や津波による災害からどう身を守るかなど、自助・共助・公助を促す取組を行う。
- ・犯罪の多い街のイメージが強いため防犯対策の強化。こどもが安心できる街づくりを目指す。
- ・防犯面の強化(防犯カメラ設置の増設、住宅地周辺の街灯の増設など)
- ・自転車、車、歩行者がそれぞれ安心して通行できる環境づくり

【4】今後の平塚市のまちづくりについてご意見がありましたら、自由にご記入ください。

(自由意見の内訳)

単位：人

意見の記入があった方の 年代別人数	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	年代 不詳
		350	6	18	41	65	70	69	81

単位：件

意見の内容	年代別件数								
	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	年代 不詳
総合計画について	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査について	5	0	0	1	1	2	0	1	0
まちの方向性	19	0	1	3	4	1	4	6	0
特性（気候、地形など）	3	0	0	0	0	2	1	0	0
まちの魅力	29	1	1	2	6	5	8	6	0
市民生活が優先	9	0	0	4	1	2	1	1	0
生活しやすさ	6	0	0	0	2	2	2	0	0
教育	17	0	4	2	4	2	3	2	0
道徳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人の交流	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平和・人権	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外国籍市民	1	0	1	0	0	0	0	0	0
文化	1	0	0	0	0	0	1	0	0
スポーツ	4	0	2	0	1	0	0	1	0
マリン・ビーチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男女共同参画	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コミュニティ	6	0	0	1	2	1	2	0	0
地域福祉	2	0	0	0	1	0	0	1	0
福祉相談窓口	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子育て	31	0	1	9	10	3	3	5	0
青少年	1	0	0	0	0	0	0	1	0
高齢者	11	0	0	1	0	0	3	7	0
障がい者	4	0	0	0	2	1	0	1	0
低所得者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護保険	3	0	1	0	1	1	0	0	0
医療	3	0	0	2	0	0	1	0	0
健康	1	0	0	0	0	0	1	0	0
生活環境	8	0	1	0	1	3	0	3	0
自然環境	9	0	1	0	1	3	2	2	0

年代別件数 意見の内容	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	年代 不詳
市営住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道路	19	0	1	2	4	6	5	1	0
排水路・下水道	2	0	0	0	0	0	0	2	0
自転車のまち	2	0	0	0	0	1	0	1	0
ごみ対策	14	0	0	1	2	2	3	6	0
環境対策	2	0	0	1	0	1	0	0	0
公園・花畑	19	1	1	5	1	2	4	5	0
里山	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大規模商業施設関係	4	0	1	0	0	0	2	1	0
産業振興	4	0	0	1	0	0	1	2	0
雇用	1	0	0	0	0	1	0	0	0
工業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業	3	0	0	0	0	0	1	2	0
漁業	1	0	0	0	1	0	0	0	0
商業	14	0	2	0	5	4	2	1	0
観光	5	0	0	0	0	2	3	0	0
特産品	2	1	0	0	0	1	0	0	0
消費者行政	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害対策	16	2	1	1	3	3	3	3	0
防犯	7	1	0	3	1	2	0	0	0
交通安全	13	1	1	1	3	3	2	2	0
まちの活性化・活力	11	1	0	1	1	3	3	2	0
中心市街地活性化	36	0	1	2	5	8	15	5	0
駅周辺整備	10	0	0	0	5	2	2	1	0
駅周辺の治安維持	3	0	0	1	1	1	0	0	0
駐輪場	3	0	0	0	0	0	0	3	0
駐車場	9	0	0	3	1	1	1	3	0
交通対策	32	1	1	1	8	11	4	6	0
七夕	8	0	2	1	0	1	2	2	0
市民病院整備	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海岸地区整備	16	0	0	0	1	4	6	5	0
公共施設	9	0	2	1	0	2	3	1	0
競輪場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツインシティ	3	0	0	0	0	1	0	2	0
情報提供	7	0	0	0	4	1	2	0	0
コミュニケーション	2	0	0	0	0	0	1	1	0
協働	1	0	0	0	0	1	0	0	0

年代別件数 意見の内容	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	年代 不詳
効率・効果的な行政運営	5	0	0	3	0	0	1	1	0
地区間の格差是正	9	0	0	0	0	2	3	4	0
広域・合併	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員等に対して	4	0	0	1	0	1	1	1	0
その他機関に対して	8	0	0	0	3	2	2	1	0
その他	9	1	1	1	1	2	0	3	0
計	486	10	27	55	87	99	104	104	0

<結果の要約>

「今後の平塚市のまちづくりについて」伺ったところ、350人から486件の意見があった。（記入率34.3%）

「中心市街地活性化」についての意見が最も多く、次いで、「交通対策」、「子育て」、「まちの魅力」についての意見が多かった。

<主な意見>

【中心市街地活性化】

- ・ 駅周辺の環境は再開発ではなく、今ある資源をもっと市民のために活用する。
- ・ 文化芸術ホールは素晴らしい施設です。広場のスペースとの一体的な活用や駅前商店街も含めた活性化ができれば良い。

【交通対策】

- ・ 南北の移動は良いが東西の移動が不便である。
- ・ 車や自転車移動ができない人や身体の不自由な人の交通手段を考える。

【子育て】

- ・ 児童虐待、ヤングケアラーなど、辛い思いをしている子どもを助けられるまちであって欲しい。
- ・ 子育て世代に選ばれるまちと言うと、出産補助・保育園整備などに目が行くが、小中学校の教育を充実させる。不登校・登校しぶり等も含めて学習面以外でも子どもたちのケアが必要である。

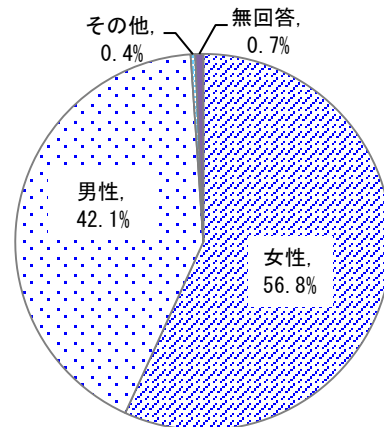
【その他】

- ・ 中央地下道など、自転車、歩行者の通り道をきれいに使いやすくする。
- ・ 最後まで住み慣れた家で暮らせるように、介護事業所やそこに関わる人材を充実させて、自分らしい生き方を自分で選択できるまちづくりを目指す。
- ・ コロナ禍においても、七夕まつりが開催され、地域のお祭りも復活した。笑顔があふれる平塚市になって欲しい。

【5】 あなたご自身やご家族のことについて

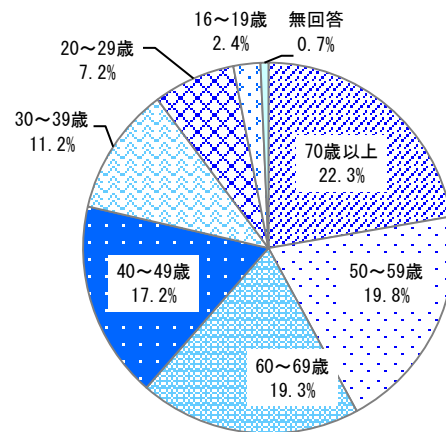
(ア) あなたの性別をお答えください。

1 男性	42.1%
2 女性	56.8%
3 その他	0.4%
無回答	0.7%



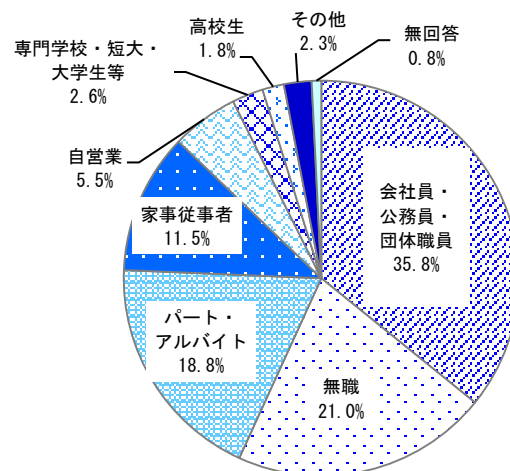
(イ) あなたの年齢をお答えください。

1 16～19 歳	2.4%
2 20～29 歳	7.2%
3 30～39 歳	11.2%
4 40～49 歳	17.2%
5 50～59 歳	19.8%
6 60～69 歳	19.3%
7 70 歳以上	22.3%
無回答	0.7%



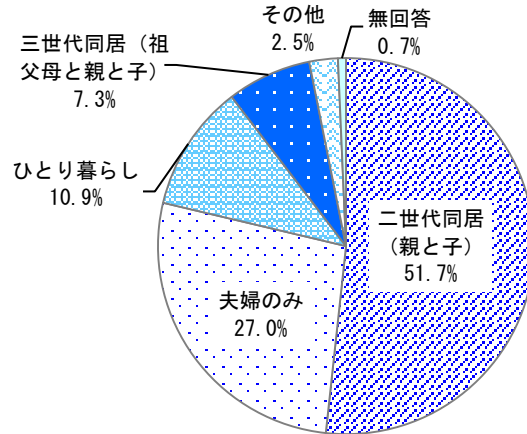
(ウ) あなたのお仕事をお答えください。

1 高校生	1.8%
2 専門学校・短大・ 大学生等(予備校含む)	2.6%
3 会社員・公務員・団体職員	35.8%
4 自営業	5.5%
5 家事従事者	11.5%
6 パート・アルバイト	18.8%
7 無職	21.0%
8 その他	2.3%
無回答	0.8%



(エ) あなたの世帯構成をお答えください。

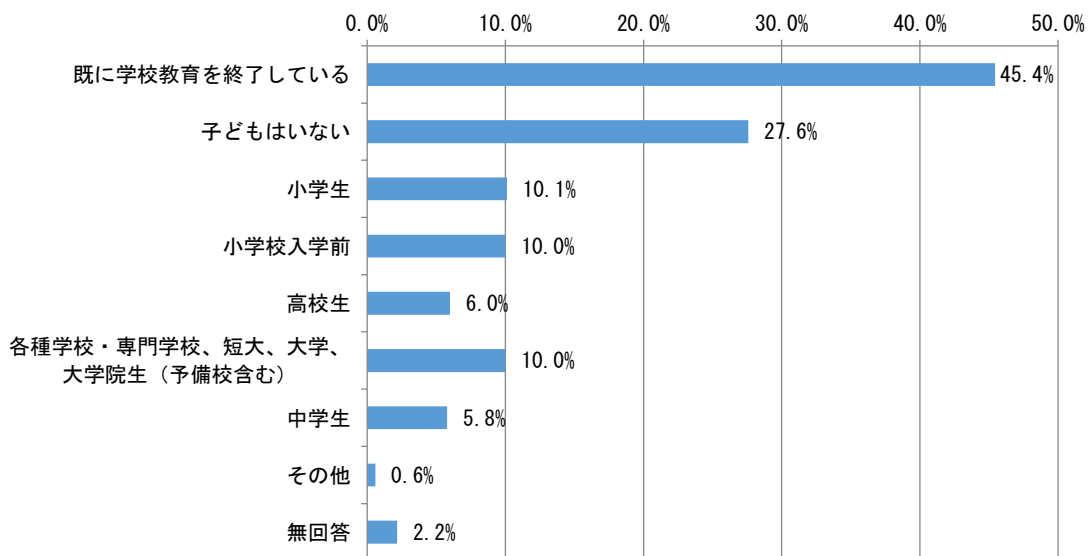
1 ひとり暮らし	10.9%
2 夫婦のみ	27.0%
3 二世帯同居(親と子)	51.7%
4 三世帯同居(祖父母と親と子)	7.3%
5 その他	2.5%
無回答	0.7%



(オ) あなたにお子さんはいますか。

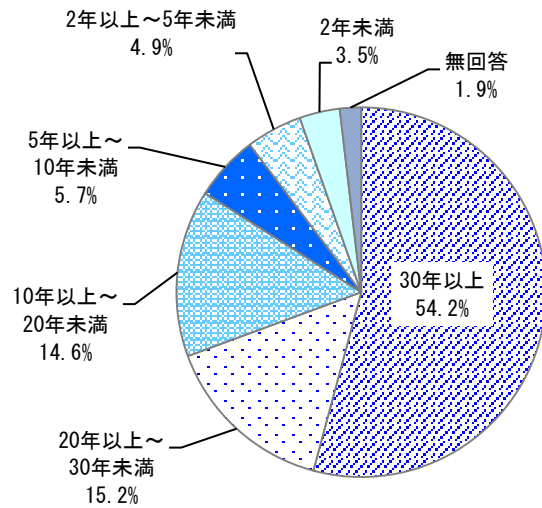
(同居・別居に関わらず、あなたのお子さんについて、当てはまるものすべてに○をつけてください)

1 小学校入学前	10.0%
2 小学生	10.1%
3 中学生	5.8%
4 高校生	6.0%
5 各種学校・専門学校、短大、大学、大学院生(予備校含む)	10.0%
6 既に学校教育を終了している	45.4%
7 子どもはいない	27.6%
8 その他	0.6%
無回答	2.2%



(カ) あなたは、平塚市にお住まいになって何年になりますか。

1	2年未満	3.5%
2	2年以上～5年未満	4.9%
3	5年以上～10年未満	5.7%
4	10年以上～20年未満	14.6%
5	20年以上～30年未満	15.2%
6	30年以上	54.2%
	無回答	1.9%



(キ) あなたの現在のお住まいについてお答えください。

1	持ち家(一戸建て)	65.1%
2	持ち家(マンション・共同住宅)	13.6%
3	借家(一戸建て)	2.5%
4	借家(マンション・共同住宅)	15.9%
5	その他	0.9%
	無回答	2.1%

